

第十四回 貴族院議事速記録第二十號

明治三十三年二月九日(金曜日)

午前十時八分開議

議事日程 第二十號 明治三十三年二月九日

午前十時開議

第一 保險業法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

第二 產牛馬組合法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

第三 東京市ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第五 殖林ノ爲メ設定シタル地上權登記ニ關スル法律案 第一讀會

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第七 蟲害地租特別處分法案(衆議院提出) 第一讀會

第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會ノ續(特別委員報告)

第九 國事犯罪者家祿賞典處分法案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

第十 裁判所設立及管轄區域變更ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

第十一 帝國教育會國庫補助ニ關スル建議案(子爵長岡義美君外四名發議) 會 議

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

〔小原書記官朗讀〕

昨八日本院ニ於テ可決シタル韓國京釜鐵道速成ニ關スル建議書ハ即日政府ニ呈出セリ

同日衆議院提出古物商取締法中改正法律案ヲ受領セリ

本日左ノ政府提出案ヲ受領セリ

臺灣ニ在勤スル官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案

臺灣ニ服役スル軍人ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案

委員長副委員長左ノ通當選セラレタリ

礦業條例中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵坊城 俊章君 副委員長 男爵尾崎 三頁君

郵便爲替法案外三件特別委員會

委員長 子爵岡部 長職君 副委員長 男爵鈴木 大亮君

○子爵岡部長職君 本日ハ午前十時ヨリ郵便爲替法案外三件ノ特別委員會ノ通知ヲ致シテ置キマシタカラ議場ニ御差支ゴザリマセヌケレバ退席致シタウゴザリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザリマス、是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、保險業法案、政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔公爵德川家達君演壇ニ登ル〕

○公爵德川家達君 特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報道ニ及ビマス、此委員會ハ去ヌル六日並ニ七日ノ兩日ニ委員會ヲ開キマシテ第一回ノ委員會ニ於キマシテハ質問ノミデアリマシタ、第二回ノ委員會即チ去ヌル七日ノ委員會ニ於テハ質問ナリマシテ大體議ニ移リマシタ、此法案ハ前ニ第一讀會ノ節ニ政府委員ヨリモ説明ノアリマシタ如ク此保險業取締ヲ必要トスル故ニ曩ニ商法施行法ニ其規定ヲ設ケテハゴザイマシタケレドモ、ソレハ全ク一時ノ急ニ備フル爲デアッテ固ヨリ不完全ナ免レマセヌ、故ニ此度此法案ヲ提出サレタ譯デ、委員ノ中デモ一人ノ異論者モナク大體ニ於テハ可決スベキモノト決シマシタ、ソレヨリ逐條ノ會議ニ移リマシテ第十七條第六十二條、第九十二條、此三條ニ修正說ガ現レマシタ、第十七條ニ於ケル修正ハ「會社ノ資本ハ十萬圓ヲ下ルコトヲ得ス」ト云フヲ「會社ノ資本ハ拂込金額十萬圓ヲ下ルコトヲ得ス」ト云フ斯ウ云フ修正說ガ出マシタ、其理由ハ保險會社ノ如キ十萬圓位ノ資本ヲ備ヘシメテ確實ナルヲ認メナクテハナラヌ、故ニ必ズ十萬圓ヲ拂込マシメテ營業ヲ初メルヤウニシタイト云フ理由デゴザイマス、是ハ委員會ニ於テハ大少數ヲ以テ否決セラレマシタ、次ノ修正即チ第六十二條ノ修正ハ「剩餘金ハ定款ニ別段ノ定メナキトキハ各事業年度ノ終ニ於ケル社員」ト云フ下ニ「及ヒ社員ニ非サル保險契約者」ト云フ十三字ヲ加ヘルト云フ修正デアリマス、其理由ハ社員ニアラザル者ヲ被保險者トシテ一般ノ者ヨリ募集スル以上ハ此者ニモ剩餘金ヲ相當ニ分配スルコトハ當然デアルト斯ウ云フ理由デ提出ニナリマシタ、ソレカラ第九十二條、九十二條ノ「相互會社ニハ營業稅ヲ課セス」其「課セス」ト云フ字ノ下ニ「但社員ニ非サル者ト保險契約ヲ爲ス相互會社ハ此限ニ在ラス」ト云フ字ヲ加フルト云フ修正デアリマス、其理由ハ社員ニアラザル者ヲ被保險者トシテ一般ノ者ヨリ募集スルニ至リマシテハ他ノ會社ト略々同一ノ營業ヲ爲ス譯デアッテ社團法人ノ範圍ヲ超エテ營業會社ノ爲スコトト略々同様ト看做サザルヲ得マセヌ、ソレ故ニ營業稅ヲ課ス

ルヲ以テ當然ト認ムル、且ツ是ニシテモ營業稅ヲ課セザルトキハ他ノ營業稅ヲ課セラル、株式會社等ニ迷惑、否、損害ヲ與フルニ至ルヲ認ムル故ニ斯ノ如キ修正ヲ提出スルト云フ譯デゴザイマス、此前ニ申上デマシタ十七條ノ修正ハ大少數デ否決ニナリマシタ、第六十二條並ニ第九十二條ノ修正說ハ出席ノ委員……委員長ヲ除キマシテ十名デゴザイマシタ、ソレデ此修正說ハ正半數ニナリマシタ、五名ノ贊成者ヲ得マシタ譯デ、玆ニ於テ貴族院規則第十五條ノ命スル所ニ據リマシテ、委員長ノ裁決ガ必要ト爲リマシタ、委員長ハ此兩案共ニ修正ナスル必要ヲ認メマセナダ故ニ原案ニ贊成ヲ致シマシタ、故ニ修正說ハ否決セラレタモノト爲リマシタ、六十二條ノ修正說ハ別ニ少數意見ハ提出ガゴザイマセヌガ、九十二條ノ修正ニ於テハ諸君ノ御手許ヘ配付ニナリマシタ如ク五名ノ委員ヨリ少數意見ヲ提出サレタ譯デアリマス、故ニ九十二條ニ至リマシテ其少數者ヨリ詳細ノ説明ガアラウト存ジマスカラ委員長ハ説明ヲ略シマス、右ノ次第デゴザイマスカラ此法案ハ極ク必要ノモノト委員會デハ認メマシタ、故ニ委員長ノ報告通り速ニ議了ニ相成ルコトヲ偏ニ希望致シマス

○村田保君 本員ハ委員長ニ少々伺ヒタイノデゴザイマスガ、併ナガラ本員ガ伺ヒマスルコトハ、委員會ニ斯ウ云フ御議論ガ出ヤシナイカ、或ハ斯ウ云フ問題ハドウ云フ御評議ニナツタカト云フヤウナコトデ、數箇條ニ亘リマスカラ委員長ハドウ御席ニ御著キニ相成リタイ、却テ御迷惑ヲ掛ケルト存ジマスカラ……ソレデ決シテ委員長カラデナクテモ政府委員カラデモ宜シウゴザイマスガ、委員會デ斯ウ云フ御議論ガアツタカト云フコトヲ伺ヒマス、本員ハ此保險法ハ隨分重大ナル關係ヲ有シテ居ル案ダト思ヒマスカラ、十分委員會ニ於キマシテハ數回ノ討論ヲ用ヒラレタウト思ヒマシタノニ、然ル所ガ僅ニ一二回デ御議論ガ濟ミマシタト云フコトハ實ハ甚ダ委員諸君ノ御勉勵ハ感服致シマスガ、本員杯ハ……是ハ商法ノ各條ヲ引イテ居リマスガ、商法ノ各條ヲ照ス暇サヘナイ位デゴザイマス、併シ本員ガ少シ見マシタ所デ此中ニ御尋シタイコトハ、委員會デ斯ウ云フコトニ附イテハ御調ハナカッタカト云フコトニ附イテ御尋ヲ致シタイ、第一二三條デゴザイマス、三條ニ於キマシテ「相互會社ニシテ社員ニ非サル者ト保險契約ヲ爲スモノハ特ニ其免許ヲ受クルコトヲ要ス」免許ヲ受ケナケレバ出來ヌト云フコトニナツテ居ル、免許ヲ得タ後デナケレバナラヌ、然ル所ニ行キマス「主務官廳ハ何時ニテモ前項ノ免許ヲ取消スコトヲ得」ト云フコトガアル、ソレデ一項ニ於キマシテ

免許ヲ受ケルノハ宜シイケレドモ二項ニ於テ何時デモ取消スコト云フコトニナリマス、實ニ之ガ爲ニ一個人ノ權利ヲ障害スルコトハ甚シイコトダラウト思フ、又其免許ト云フモノハ一向信用サレナイ、何時デモ取消スコトニナリマスカラ……ソレデ之ヲ取消シマスニハ斯ウ斯ウ云フ場合ニハ取消スコトカ何トカ云フ標準デモアリマスノデゴザイマスガ、主務官廳ガ何時デモ取消スコトニナリマススト人ノ權利ヲ害スルコトハ容易ナラヌ、所ガ主務官廳ト云ウデモ御存知ノ通り農商務省杯ハ今日ハ餘程宜シウゴザイマスガ、以前ハ一年五六人ノ農商務大臣ノ更迭ガアルト云フ譯デ、其大臣ニ依ッテ方針ガイッデモ變ル、ソレデサウ云フコトハ隨分農商務省杯ハ經歷ノアルコトデ、ソレデ一方ニ許シ、右ノ手デ與ヘテ左ノ手が取上ゲルト云フコトヲヤラレテハ實ニ困ル、是ニハ何カ取消ス場合ハ斯ウ斯ウ云フ場合ニ取消スコト云フ標準ガナケレバナラヌ、一體法律ニデモ此位ノコトハ掲ゲナケレバナラヌ、併シ此邊ハドウ云フコトニナツタカ、是ハバカリデハゴザイマセヌ既ニ二十三條ニモアル「免許ヲ取消スコトヲ得」ト云フコトガアル、十三條ノ免許ヲ取消ス場合ハ會社ハ解散シテ仕舞ハナケレバナラヌト云フ位、其ヤウニ取消ト云フコトニナツテ居リマスノハ何カ標準デモゴザイマスガ、或ハ取消ナント云フコトハ隨分場合ニ依リマシテハ主務省ニ於テハ不條理ナル場合ニ取消スコトガアルカモ知レマセヌ、サウ云フ人民ノ權利ヲ害スルヤウナ場合ニハ訴願デモ許スコト云フヤウナ道ガゴザイマスガ、何デモ不當ト思ッテモ之ニ從ハナケレバナラヌト云フハ如何ニモ不穩當デアル、其邊ニハ訴願デモ許スコトカ何トカ云フ人民ノ權利ヲ保護スル道ヲ與ヘテゴザイマスガ、サウ云フコトヲ一ツ伺ヒタイ、ソレカラ十二條デス、是ハ聊ナコトデスガ、私ハ今マデ法典事務ヲ扱ッテ居リマシタガ斯ウ云フコトハ見ナイ「主務官廳」ガ初ニ置イテアリ、仕舞ニハ「必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得」ト云フコトハ、是ハ十條ニモアル主務官廳ハ何何ノ爲メ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得、斯ウ云フ文例ハチヨット覺エマセヌガ、是ハ文字上ノコトデスガ、チヨット是モ伺ヒタイ、ソレカラ其他ニ二十七條デス、二十七條ニ「相互會社ノ發起人ハ定款ヲ作リ之ニ左ノ事項ヲ記載シ署名スルコトヲ要ス」トアル、其他ニモ署名ト云フコトガアル、所ガ署名ノコトハ先日、ツイ四五日前ニ本院ノ本會ニ於キマシテ衆議院カラ廻リマシタ商法中ニ署名トアルモノハ署名捺印ヲ以テ代ヘルコトヲ得ト云フコトニ大多數ヲ以テ本院ヲ通過シテ居ル、ソレデ此唯今マデハ商法ダケニ特ニ署名バカリト云フコトガアリマシテ其他ノ法律ハ印ヲ認メテ印ノナイコトハナイ、

民法デモ捺印ト云フコトヲ認メテ居ル、商法ノミハ捺印ト云フコトハ九デ認メナイ、用ウルコトハナラヌト云フ主意デアッタ、ソレ故ニ衆議院カラシテ署名捺印ト云フコトヲ以テ、印ヲ捺スコトモ出來ルト云フコトニシテシマッタ、ソレハ即チ本院ヲ通過シタ、所ガ此保險法ハ何故署名ト云フコトニナッタカト云フト、即チ今日ノ保險法ハ商法カラ出タ、商法カラ即チ分離シテ出タ、商法ヲ割イテ即チ特ニ斯ウ云フ保險法ト云フモノガ出來マシタノデスカラシテ、從前ノ如ク之ガ商法ノ中ニ這入ッテ居リマスレバ先日商法中ノ署名捺印デ濟ミマスガ、特ニ保險法ト云フモノニナリマスレバ、ドウシテモ是ニモ取除ケガナケレバナラヌ、商法中ナラバ成ル程先日ノ宜シイガ、保險法バカリハドウシテモ印ヲ捺スコトハナラヌ署名バカリダト云フ道理ハナイト思フ、此場合ニハ署名ノ下ニ捺印トカ云フヤウナコトハ是ハドウモ加ヘナケレバナラヌ、即チ先日本院ノ決議ニ依ッテドウシテモ捺印ヲ要サナケレバナラヌモノダト思ヒマス、現ニ此頃或ル法律ヲ調べテ居リマスケレドモ却ッテ本邦デハ署名ヨリ印ノ方が必要デ、捺印バカリデモ宜イト云フ論ガアル位、サウ云フ譯デスカラドウシテモ印ト云フコトハ先日本院ノ議決ノ結果必要ダト思ヒマスガ、委員會ニ於モマシテ是バカリハ特ニ印ハ要ラヌト云フヤウナ御評議デモアリマシタカ、是モ併セテ伺ッテ置キタイ、ソレカラ三十五條ニ、「事務所」ダトカ「取締役」ダトカ色々ナコトガ此外ニモアリマスガ、相互會社ト云フモノハ百人以上ト云フ定員ヲ以テ人員ヲ限ッテアル會社デアレバ社員ノ人員ト云フモノナケレバナラヌモノダト思ヒマス、是モ其邊ノ御評議ハ如何ニナリマシタカ、伺ヒタイ、ソレカラ四十一條、四十一條ニ「損害保險ヲ目的トスル相互會社ノ社員カ保險ノ目的ヲ讓渡シタルトキハ讓受人ハ會社ノ承諾ヲ得テ」云々トアル、是ハ社員ノ保險ノ目的ヲ勝手ニ賣渡スコトガ出來ル、唯讓受人ガ會社ノ承諾ヲ得ルダケデ、讓渡人ハ一向會社ノ承諾ヲ得ヌコトニナル、然ル所ガ此會社ト云フモノハ百人ト云フ定員デアリマスカラ讓渡スノハズンズン讓渡シテ仕舞フコトニナリマスレバ遂ニ百人以下ニナッテ仕舞フ、百人以下ト云フコトニナリマスレバ其會社ハ解散シナケレバナラヌ、ソレデドウシテモ是ハ會社ノ承諾ヲ得テ讓渡スト云フコトニナラナケレバナラヌト思ヒマス、會社ノ承諾ヲ得ヌデ讓渡スト讓渡人ガ誰ニテモ讓ッテ仕舞ヘバ百人以下ニナッテ仕舞フ、會社モ解散シテ仕舞ハナケレバナラヌ、是ハ矢張り四十二條ノヤウニ會社ノ承諾ヲ受ケテ讓渡シナケレバ不都合ナモノト思ヒマスガ其邊ハ如何デアリマスカ、ソレモ一ツ伺ヒタイト思ヒマス、

ソレカラ此六十七條デス、六十七條ニ「社員ハ左ノ事由ニ因リテ退社ス」ト云フコトガアリマス、其中ニ死亡ト破産ト云フコトガアリマスガ、然ルニ失踪ト云フコトノナイノハドウ云フモノデアリマスカ、是ガ通常ノ制限ノナイ會社ナラバ失踪ト云フコトハ要ラヌカモ知ラヌケレドモ、ドウモ百人ト云フ制限ヲ限ッタル會社ニ於テハ失踪ノ場合ト云フコトハ之ニ掲ゲテ宜イモノデハナイカト思ヒマス、戶籍法ニ於テ失踪ヲ認メテ失踪者ト云フ者ハ殆ド死亡人同様ノ者ニ見テ居ル、ドウモ此失踪者ト云フコトモナクテハナラヌカト思ヒマス、其邊ハドウ云フ御調デアリマシタカ、ソレカラ此六十八條ニ六十條ノ退社員ト云フ者ハ斯ウ云フ金額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得トアリマスガ、死亡ノ場合ニハ自分ガヤルコトハ出來ヌ、何レ是ハ相續人トカ承繼人トカ云フヤウナ者が請求スルコトデアリマセウガ、此事が見エナイ、成ル程退社員ハ金額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得トアリマスガ、死亡者自ラ請求スルコトハ出來ナイ、何レ相續人トカ此他ノ承繼人デナケレバナラヌ、此事ガチヨット見エヌヤウデアリマスガ、是ハドウ云フモノデアリマスカ、ソレカラ九十二條デス、九十二條ニ「相互會社ニハ營業稅ヲ課セス」ト云フコトガアル、營業稅ヲ課セスト云フコトデアアルガ、一體何故ニ營業稅ヲ課セラレナイカ、民法ノ法人ト認メテ營業稅ヲ課セラレヌ譯デアリマスカ、此相互會社ト云フモノハ民法上ノ法人ト見ラレルト云フ御考デアアルカ、ソレモ一ツ伺ヒタイ、併ナガラ本員ノ見マスル所デハ相互會社ハ決シテ民法上ノ法人ト見テ居ラヌ、矢張り商法上ノ法人ト見テ居ル、商法上ノ法人ト見レバ即チ相互會社ト雖モ營業ニ違ヒナイ、ソレデ此營業稅ヲ課セラレヌト云フ理窟ハドウモ立タヌ、成ル程民法上ノ法人ハ營業稅ヲ出スニ及バヌ、相互會社ト雖モ營業ニ違ヒナイ、利益ヲ得レバ分配モシマス、ソレハ他人トヤラウトモ社員同士デヤラウトモ同ジコトデアラウト思ヒマス、ソレデドウモ營業稅ヲ課セラレヌト云フ道理ハドウカラ出ルカ、本員ハ解シ兼ネル、ソレカラ九十八條デス、九十八條ニ「主務官廳ノ免許ヲ得シテ保險事業ヲ營ム者ハ十圓以上千圓以下」ト云フコトガゴザイマスガ、是ハ取締役トカ何トカ云フコトニ書イテアリマスレバ宜シウゴザイマスガ、相互會社デ見レバ百人ガ百人殘ラズ斯ウ云フ罰課スルト云フ御主意デアリマスカ、ソレチ一ツ伺ヒタイ、ソレカラ九十九條ノ中ニ段々並ベテ書イテアリマスガ、此中ニ斯ウ云フコトガ澤山アリハセヌカト思ヒマス、百人以上トアルガ、實際ハ百人ナイ、ソレチ百人アルト偽チ言ッテ居ル、偽チスルト云フヤウナ場合ガ私共ハアラウト思ヒマス、

サウ云フヤウナ場合ノ處分が見エナイヤウデアリマスガ、ソレハ如何ナル御積リデアリマスカ、ソレ等モ伺ヒタイ、ソレカラ百條デス、相互會社ノ發起人云々、斯ウ云フ過料ニ處ストアル、其中ニ「本法ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ」トアル、是ハ發起人が登記ヲ怠リタルト云フガ、發起人が登記ナスト云フコトハチヨット見エマセヌガ、是ハ本員ハ分リマセヌカヲ承リマス、玆ハ何モ發起人ニ關係ガナイカラサウ書カナイデ分ッテ居ルト云フ御主意カ知リマセヌガ、是ハ本員ガ心得ノ爲ニ伺ッテ置キマス、實ハマダ餘程ゴザイマスガ、餘リ長クナリマスカラ先ヅ大略政府委員カラデモ御説明ヲ願ヒマス

○公爵徳川家達君 唯今村田君カラ斯ク浩瀚ナル法案ヲ僅カ二日間ニ委員會ヲ結了シテ本議場ニ報告致シタ委員ノ勉勵ヲ御賞シ下サレマシテ甚ダ望外ノ至ト存ジマス、唯今數多ノ御質問又ハ御意見ノヤウナコトヲ伺ヒマシタガ、村田君ノ如キ法律ニ明ルイ御方ノ御質問ニ對スル答辯ハ本員等ノ如キ者ハ迎モ出來マセヌ、故ニ此政府委員ニ御答辯ヲ煩ハシタク存ジマス

〔政府委員岡野敬次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員〔岡野敬次郎君〕 唯今村田サンカラ段々御質問ガゴザイマシタカラ、順序ヲ逐ウテ簡單ニ御答ヲ申上ゲタイト存ジマス、第一ノ御質問ハ本案ノ第三條ニ於テ相互會社ガ社員ニアラザル者ト保險契約ヲ爲スニ附イテハ特別ニ其免許ヲ請ハナケレバナラヌノデアルト云フコトヲ第一項ニ規定シテ置キナガラ、第二項ニ於テハ何時デモ其免許ヲ取消スコトヲ得ト定メテアルノハ、一方ニ免許ヲ與ヘテ而シテ勝手ニ其免許ヲ取消スコトガ出來ルノデアアルカラ其免許ノ效力ハ甚ダ薄弱ナモノデアアル、當業者ハソレガ爲ニ權利ヲ障害セラル、コトニ至ルデアラウト、斯ウ云フ御主意デアアルノデアリマス、何故ニ此本條ニ於テ特ニ免許ヲ與ヘネバナラヌカ、又其免許ハ何時デモ取消スコトガ出來ルモノデアアルカト云フコトヲ規定致シタカト申シマス、相互會社ト云フモノノ性質ハ社員互ニ保險スル、會社ガ互ニ相救フト云フノ主意デ設立スル會社デアリマスカラ、本來ノ性質カラ申シマスレバ社員ニアラザル者ガ相互會社ト保險契約ヲ爲スト云フコトハ例外ト言ハナケレバナラヌ、或ハ本來ノ性質カラ申シマスレバ相互會社ト云フモノハ社員デナイ者ト契約ヲ爲スコトハ出來ナイト云フノガ理論上正シイカモ知レヌノデゴザイマス、併ナガラ特ニ社員ニアラザル者ト契約ヲ爲スコトヲ許シタノハ他ニ理由ガアルコトデアリマスガ、其理由ハ唯今述べル必要ガアリマセヌガ、相互會社ノ性質上

斯ノ如キモノデアリマス、故ニ特ニ免許ヲ受ケナケレバナラヌト云フコトヲ定メタノデアリマス、而シテ第二項ニ於テ「免許ヲ取消スコトヲ得」ト定メマシタノハ、相互會社ト云フモノハ社員ノ共同ノ事業デアリマスルガ、併ナガラ尙ホ相互會社ノナリデ其實、株式會社同様營利的ノ保險契約ヲ爲スガ如キコトガアリマシテハ相互會社ノ設立ヲ認メタ所ノ精神ニ反スルノデアリ、相互會社デアリナガラ株式會社ト同一ノ營業ヲ爲スガ如キ事實ガ現レタナラバ其免許ヲ取消サナケレバナラヌノデアリマス、又特ニ免許ヲ受ケナケレバナラヌト云フコトガアリマスルガ、是ハ矢張り何時デモ其免許ヲ與ヘルノデアアル、併シ會社ノ組織、會社ノ營業ノ方法等ヲ問ハスシテイツモ免許ヲ與ヘルノデアリマセヌノデ、必ズ何トカ制限ヲ設ケテ是ダケノ範圍ニ於テハ社員デナイ者ト保險契約ヲ爲シテモ宜シイト云フ其條件ヲ加ヘテ免許ヲ與ヘルノ積リデアリマスルカラ、其條件ニ背イタトカ或ハ其制限ヲ超エタトカ云フヤウナ事實ガ現レタナラバ矢張り免許ヲ取消サナケレバナラヌノデアリマス、其主意ヲ以テ第三條ニ於テハ免許ヲ何時デモ取消スコトガ出來ルト云フコトヲ定メタノデアリマス、次ハ……

○村田保君 ソコデチヨット尙ホ私ハ伺ヒタイノデスガ、唯今ノ御答辯デ見マス、會社ガ條件ニ違背シテヤッタト云フコトニナルト、即チ解散ノ場合デハナイカト思ヒマスガ如何デゴザイマス

○政府委員〔岡野敬次郎君〕 御答致シマスルガ、此免許ノ取消ト云フコトニ二様アリマシテ、營業ノ免許ノ取消デアリマスレバ唯今ノ御話ノ通りニ免許ヲ取消ニ依ッテ會社ハ解散致シマスノデアリマス、併ナガラ此相互會社ガ免許ヲ請フニ附イテハ社員ニアラザル者ト保險契約ヲ爲スニハ一ツノ免許ヲ得テ居ルノデアリマス、即チ此社員ダケト保險契約ヲナス者ハ普通ノ事業免許デ宜シイノデアリマスルシ、社員ニアラザル者ト保險契約ヲ爲スニ附イテハ特別ノ免許ヲ受ケナケレバナラヌト云フコトニナッテ居リマス、其特別ノ免許ノ取消ト云フモノハ、社員ニアラザル者ト保險契約ヲ爲スコトヲ禁ズルノ效力ヲ持ツノデアリマスケレドモ、併ナガラソレガ爲ニ本來ノ事業ノ免許タルモノノ效力ハ失ハナイノデアリマスカラ、會社ハソレガ爲ニ解散スルコトハナイト云フ主意デアリマス

○村田保君 ソレナラ宜シウゴザイマスガ、唯今ノナンデスト即チ主務官廳ノ命令ニ違背シタルコトトナラウト思フ、先刻ノ御答辯ダト……

○政府委員〔岡野敬次郎君〕 而シテ其次ハ第十二條ノ「主務官廳力」ト云フ

「カ」ノ字が穩デナカラウト云フ御話ガアッタヤウデスガ、是ハ此第十二條ノミ
デハアリマセヌ、他ニモ斯ウ云フ文例ハアラウト存シマスガ、何故ニ第十條十
一條ニハ「主務官廳ハ」ト申シタカト云フト主務官廳ハ何ニスルコトヲ得ト云
フコトガ直接ニ出來マスカラ「ハ」ノ字ヲ用ヒタノデアリマスガ、第十二條ニ
「カ」ノ字ヲ用ヒタノハ主務官廳ガ認ムルトキハト云フ「認ムルトキハ」ニ係ル
ノデアリマスカラ、若シ平タク書キマシタナラバ主務官廳カ保險會社ノ業務
又ハ會社財産ノ狀況ニ依リ其事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキハ主務官廳
ハ其事業ノ停止ヲ命シ云々ト書クノガ穩デアリマセウガ、ソレハ他ニ文例ノ
アルコトデアリマシテ、此處ニ「カ」ノ字ヲ用ヒタノデアリマス、ソレカラ次
ハ第二十七條、二十七條ノ署名ト云フコトハ先日モ議論ノアッタコトデアッテ、
署名ボツ捺印ト云フヤウナコトニセネバナラヌト云フヤウナ御主意ノヤウデ
アリマス、此署名ハ商法ニ於キマシテハ自署セネバナラヌト云フ精神ヲ以テ
制定シタノデアリマスルガ、彼ノ署名ニ關スル法律案ノ議會ニ提出サレル前
ニ於キマシテ此法案ヲ政府カラ提出致シマシタノデアリマス、其法案ノ議事
ノ際ニモ政府ニ於テハ反對ノ意見ヲ述ベタ位デアリマスカラ固ヨリ此第二十
七條ニ於テ署名ト云フ文字ヲ用ヒ、且ツ其署名ヲ認メナケレバナラヌト云フ
コトノ主意デアルト云フコトハ申スマデモナイコトデアラウト思ヒマス、次
ハ第三十五條ノ登記スル事項中ニ社員ノ總數ト云フヤウナモノモ登記セネ
バナラヌ譯デアラウト云フヤウナ御主意ト伺ヒマシタガ、此相互會社ノ社員
ト云フモノハ百人以上デナケレバナラヌト云フコトハ規定シテアリマスル
ガ、固ヨリ保險事業ヲ爲スニ附キマシテ或ハ百人トカ二百人三百人位デハ到
底事業ヲ實行スルコトハ出來ナイノデアリマス、固ヨリ或ハ數萬人數十萬人
ノ社員ト云フモノガナケレバ立派ニ事業ノ成績ガ擧ガルト云フコトヲ期スル
コトハ出來ナイノデアリマス、而シテ其社員タルヤ隨分退ク者モアリ或ハ新
ニ入社スル者モアリ、其社員ノ變動ハ日々起ツテ來ルノデアリマス、恰モ株
式會社ニ於テ保險契約ヲ爲スニ附イテ一々被保險者トモ云フモノガ出來ル通
リニ、相互會社ニ於テハ保險契約ナスルト同時ニ社員ト云フモノガ出來ルノ
デアリマス、其社員ノ變動ト云フモノハ餘程煩雜ナモノデアアルノデアリマス、
併ナガラ煩雜デハアリマスルケレドモ或ハ社員ナル者ハ無限責任ヲ負擔シタ
リ、或ハ保障責任ヲ負擔シタリスル場合ガアリマスカラ、之ヲ世間ニ公ケニシ
テ置クノ必要アルコトハ當然デアリマス、ソレニ依リマシテ相互會社ニ於テ
ハ社員名簿ヲ備ヘナケレバナラヌト云フコトニナツテ居リマス、第五十條ノ規

定ニ社員名簿ニハ必ス社員ノ氏名住所ヲ記載シナケレバナラヌ、各社員ノ保
險契約ノ種類、保險金額及保險料ヲ記載シナケレバナラヌト云フコトニナツ
テ居リマシテ、而シテ此社員名簿ヲ一部ハ裁判所ヘ出シテ置カナケレバナラヌ、
其社員名簿ヲ登記簿ノ一部ト看做シテ世間ノ者ガ恰モ登記簿ノ閱覽ガ出來ル
如クニ社員名簿ノ閱覽モ出來ルノデアリマス、其變動ガ甚ダ頻々アルモノデ
アリマスルカラ其社員名簿ダケニ登錄サセテ置イタナラバ一々此第三十五條
ノ規定ニ依ッテ登記シタル事項ノ變更ハ登記センデモ宜シイト云フ主意デ茲
ニハ揭ゲナカッタノデアリマス、次ハ第四十一條、第四十一條ニ於テ被保險物
ノ所有者ガ其物ヲ所有シテソレヲ保險ニ付スルト云フ目的ヲ以テ相互會社ノ
社員ト爲ッタトキニ其目的物ヲ勝手ニ讓渡スコトガ出來テ其結果、社員ノ數ガ
百人ニ減ズルヤウナコトニナツテハ會社ハ自ラ解散シナケレバナラヌト云フ
有様ニ至ル、ソレデアアルカラシテ讓渡ニ附イテハ會社ノ承諾ヲ得ルコトニシ
ナケレバナラヌト云フヤウナ御意見ト伺ヒマシタ、ソレデ唯今モ述ベマシタ
通り相互會社ト云フモノハ矢張り立派ニ事業ノ成績ノ擧ガルト云フコトニハ
數萬人或ハ十數萬人ノ人がナケレバ決シテ立派ニ事業ノ出來ルモノデハナイ
ノデアリマス、デ百人ト云フモノハ極メテ最少限ヲ定メ、會社設立ノ際ニ直チ
ニ數千人數萬人ノ人ヲ得ルト云フコトハ困難デアリマスカラ、先ヅ會社設立
ノ時ニ於テ百人ト云フコトデアレバ宜シイト云フコトノ主意ヲ以テ百人ヲ下
ルコトヲ得ズト定メタノデアリマス、ソレデサウ云フヤウナ主意デアリマス
カラ社員ノ一人ガ會社ノ承諾ヲ得ズシテ目的物ヲ讓渡スソレガ爲ニ忽チ社員
ガ百人以下ニ減ジテ會社ガ解散スルヤウナコトハ事實ニ於テナイコト、申シ
テ宜シイ、恰モ株式會社ニ於テ株主ノ數ハ七人ヲ下ルコトヲ得ズ、若シ七人
ヨリ下ッタトキハ會社ハ解散スルト云フコトガ規定シテアリマスガ、併ナガラ
矢張り株式會社ハ定款ニ別段ノ定メナキトキハ會社ノ承諾ヲ得ズシテ他人ニ
讓渡スコトヲ得ルト云フコトニナツテ居リマス、是モ矢張り會社ガ知ラヌ間ニ
澤山ノ株式チ一人ニ集メタラバ會社ガ解散スルト云フ結果ニナリマス、併ナ
ガラ是レ又株式會社ニ於テ株主ガ七人ヨリ減ズルト云フコトハ事實想像スル
コトガ出來ヌ譯デアリマスルカラ、ソレデ同一ノ主意ヲ以テ第四十一條ニ於
テノ御質問ノヤウナ場合ハ想像シテ居ラヌノデス、次ハ第六十七條ニ死亡ガ
社員退社ノ原因ニナツテ居ルガ失踪ハ如何ト云フ御質問ト思ヒマスガ、是ハ民
法ノ第三十條及第三十一條ノ規定ニ依リマシテ失踪ノ宣告ト云フモノガア
タナラバ法律上死亡シタモノト看做スト云フコトニナツテ居リマスカラ、法

律ニ定メテアル期間が満了シタトキハ法律上死亡ト云フコトニナルモノデア
リマスカラ矢張り本條ノ第二號ノ死亡ノ中ニ合マレルコトト御承知下サツテ
宜シイ、次ハ六十八條ニ退社員トアツテ承繼人或ハ相續人ト云フモノガナイ、
是モ漏レテ居ルノデハナイカト云フ御質問デアリマシタ、此權利ト云フモノ
ハ承繼スルコトノ出來ル權利デアアルカドウカト云フコトハ詰リ一般私法ノ原
則ニ依ツテ定マルノデアリマシテ、其權利ガ承繼スルコトノ出來ルモノデア
リ讓渡ノ出來ルモノデアアル以上ハ特ニ相續人云々ト云フコトヲ各條ニハ限ハ
ナイノデアリマス、此六十八條ニ於テモ其一般ノ原則デ相續人ガ其被保人ニ
代ツテ權利ヲ行フコトヲ得ルト云フコトハ特ニ明文ナクシテ明瞭ナコトト思
ヒマス、次ハ九十二條ニ「相互會社ニハ營業稅ヲ課セス」ト云フ規定ガアル、相
互會社モ矢張り營業ヲシテ居ルノデアアルカラ無論營業稅ヲ課セヌト云フ規定
ニシタノハドウ云フ主意カト云フ御質問ト考ヘマス、此相互會社ト云フモノ
ハ營業ヲ爲シテ居ルノデアアルカドウカ、即チ營利ノ目的ヲ以テ保險事業ヲ爲
シテ居ルモノデアアルカドウカト申シマスルト、此法案ニ於テ見テ居ル所カラ
申シマスレバ決シテ營利ノ目的ヲ以テ保險事業ヲ爲シテ居ルモノデナイ、即
チ營業ヲ爲シテ居ルモノデナイト解釋ヲ致スノデアリマス、株式會社ニ於キ
マシテハ詰リ其株主ガ會社ヲ設立シテ居ルノデアリマス、株主ガ會社ノ營業
ニ必要ナル資本ヲ齎出シテ居ルノデアリマス、其株式會社ト保險契約ヲ爲ス
者ハ初カラ契約ニ定メタ所ノ保險料ヲ拂ツテ置キサヘスレバ或ハ火災保險ノ
場合ナラバ火災ノ生ジタル時分ニ保險金ノ仕拂ヲ受ケルコトガ出來ル、生命
保險デアレバ死シタル場合ニハ保險金ノ仕拂ヲ受ケルコトガ出來ルノデ、會社
ノ計算カラ申シマスレバ若シ被保險者カラ得タ所ノ保險料ガ保險金ノ仕拂ヲ
爲スニ足りナイト云フトキハ即チ資本ヲ以テ足ラザル部分ヲ補ハナクテハナ
ラヌ、併ナガラ若モ被保險者カラ得タ所ノ收入ガ保險金ノ仕拂ヲ爲シ其他總
テノ費用ヲ拂ツテ剩餘ガアッタナラバ其剩餘ハ株主ノ利益デアアツテ即チ之ヲ株
主ノ間ニ分配スルノデアリマス、即チ其利益アラムコトヲ望ンデ株式會社ヲ
設立シテ居ルノデアリマスカラ、無論株式會社ハ營利事業ヲ爲シテ居ルモノ
ト言ハナケレバナラヌ、併ナガラ相互會社ノ根本ノ思想ハ何處ニ在ルカト云
ヘバ社員カラ拂ツタ所ノ保險料ガ保險金ノ仕拂ニ足りナイトキハ社員ガ銘々
ニ懷カラ足ラザル部分ヲ補フノデ、若シ社員カラ得タ所ノ保險料ガ保險金ノ
仕拂ヲ爲シテ餘アルトキハ是ハ剩餘金トシテ社員ニ分配スルノデアリマス
ケレドモ、併ナガラ元來自分ガ拂ツタ所ノモノガ餘計デアッタカラ再ビ自分ノ

手ニ戻ッテ來ルト云フノデアアツテ、決シテ他カラ得タ所ノ收入ヲ自分ノ手ニ收
メルト云フノデアアリマセヌ、株式會社デハ株主ガ詰リ利益ヲ受ケルノデアリ
マスケレドモ、相互會社デハ社員ガ自分ヲ拂ツタ金デハアリマスケレドモ
其金ヲ拂ツタカラ再ビ自分ノ手ニ戻ッテ來ルト云フコトニ過ギマセヌカラ、
決シテ營利ノ目的ヲ以テ事業ヲ爲シテ居ルデハナイノデ、株式會社トハ違ヒ
マスカラ營業稅ヲ課セヌト云フコトニ定メマシタノデアリマス

○村田保君 モウ一ツチヨット伺ヒマスガ、サウスルト是ハ民法上ノ法人デゴ
ザイマスガ、商法ノ法人デゴザイマスガ、ソレヲ御尋致シマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマス、商法ノ商事會社ト云フモノハ無
論利益ヲ目的トスル法人デアリマス、社團法人デアリマス、民法ニ於ケル法
人ハ公益法人ト云フモノガ重モデアリマスガ、營利ヲ目的トスル法人ニシテ
目的ハ營利デアアルケレドモ商行爲ヲ爲スニアラザルモノハ商事會社ト言ヘナ
イ、矢張り民法ニ謂フ所ノ法人デアリマス、併ナガラ民法ニ謂フ所ノ公益法
人ニアラザル以上ハ悉ク營利法人デアアル、營利法人ニアラザルモノハ悉ク公
益法人アルト云フノデ、其ニツノ種類ノ外ニハ法人ト云フモノハ認メナイト
解スルコトハ出來マセヌ、營利ヲ目的トセズ公益ヲ目的トモセヌ法人モアル
ノデアリマスカラ、此相互會社ヲ認メテ公益法人デアルト云フカ、ソレハ人
々ノ解釋如何ニ依ルノデアリマスケレドモ、兎ニ角、營利ヲ目的トセヌ法人
ト云フコトハ斷言スルコトガ出來ヤウト思ヒマス

○村田保君 ソレデアリマス、三十六條デ商法ノ四十四條ヲ引カレタノハ
ドウ云フ譯デアリマスガ、四十四條ハ會社ト云フモノハ法人ニナツデ……

○政府委員(岡野敬次郎君) モウ一應伺ヒタイ、何條デスカ

○村田保君 第三十六條ニ商法ノ第九條カラ第四十四條、之ヲ準用スルト云
フコトニナツテ居リマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマス、是ハ全體株式會社ニ關スル規定
ト云フモノガ精神ノニ相互會社ニ依メテ宜イト云フコトハ獨リ三十六條バカ
リデナイ他ノ箇條ニ於テモ澤山アリマスノデ……

○村田保君 其事ヲ言フノデアアリマセヌ、法人ノコトデアリマス、四十四
條ハ營利的會社法人ダト云フ、ソレデ引イテアル、ソレデアリマスカラドウ
シテモ唯今仰ッシャルヤウニ營利デナイト云フコトハ言ヘナイト思フノデアリ
マス

○政府委員(岡野敬次郎君) 第四十四條ノ規定ヲ準用シマシタノハ相互會社

ハ法人デアルト云フコトヲ此所ニ書クノト同ジデアリマス、是ハ商法ノ謂フ所ノ法人デアアル、法人デアアルカラ商法ノ規定ヲ準用シテ、サウシテ營利ヲ目的トスル法人ト看做シタルデアアルト云フノデハナイ、民法ノ規定ニ依リマシテモ此法人ト云フモノハ本法其他ノ法律ノ規定ニ依ルニアラザレバ成立スルコトヲ得ズトアリマスカラ、何カ法律ニ規定ガナイ以上ハ法人ト爲リ得ルコトハ出来ナイ、ソレデ此法律ヲ以テ相互會社モ亦法人デアアルト云フコトヲ定メ

タニ過ギナイ、次ハ第九十八條デ、九十八條ノ「主務官廳ノ免許ヲ得シテ保險事業ヲ營ム者ハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處セラル」此規定ハ詰リ保險事業ナルモノハ免許ヲ得ズシテ爲スコトガ出来ナイモノデアリマスカラ、即チ保險營業ヲ爲スコトガ出来ナイモノデアアル、其免許ヲ得ズシテ保險事業ヲシタナラバ一人デアアルト數人デアアルト問ハズ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處スルコトガ出来ルデアリマス、ソレカラ第九十九條ノ或ハ社員ノ數ガ百人ニ滿タヌモノヲ百人ト言フタカト云フヤウナ場合ニ制裁ガ無イヤウデアアルト云フ御質問デアリマシタガ、第一百一條ニ於テ官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキハ十圓以上、千圓以下ノ過料ニ處セラルルデアアル、或ハ會社ノ設立ノ時ノ手續ヲ總會ニ報告シナケレバナラヌ場合ニ、百人デモナイモノヲ百人ト報告シタ、又官廳ニ向ッテ免許ノ申請ヲスルニ當ッテ百人ナイモノヲ百人ダト言フタラ此規定ニ依ッテ制裁ヲ受クルデアリマスカラ、制裁ガ設ケテナイノデアアリマセヌ、矢張り百一條ニ在ルノデアリマス、ソレカラ次ハ第一百條ノ一號ニ「本法ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ」トアルガ發起人が登記ヲ爲スコトヲ怠ルコトハアリ得ナイデヤナイカ、成ル程アリ得ナイコトデゴザイマス、併シ此罰則ノ規定ト云フモノハ、發起人ニ依マル場合ハ發起人ニ適用シテ過料ニ處シ、取締役ニ適用スベキ場合ハ取締役ヲ過料ニ處スルコト云フノデアアリマシテ、此九十九條、百條ニ書イテアル事項ハ悉ク發起人ニ依マルノデ、取締役ニモ監査役ニモ依ラヌト云フノデハナイ、之ヲ各號ニ掲ゲテアリマス事項中、發起人ニ依マルコトガアレバ發起人がソレヲ怠ルコトキニ依メル、取締役ガ爲スベキ事項ヲ取締役ガ怠ルコトナラバ取締役ヲ過料ニ處スルコト云フノデ、是ハ各號ニ掲ゲテアル事項ヲ適用スル上ニ於テ、或ハ發起人ト爲リ、或ハ取締役ト爲リ、或ハ監査役ト爲ルノデアリマス、デ「本法ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ」ト云フハ成ル程發起人ニハ依ラヌノデアリマスガ、監査役ニモ矢張り依ラヌノデアリマス、是ハ二號ニ於テモ三號ニ於テモ四號ニ於テモ皆同ジコトデアリ

マス、詰リ各號ニ掲ゲテアル事項ガ、法律ノ規定ガ、取締役ノ所爲デアルカ、發起人ナル者ノ所爲デアアルカト云フコトヲ見テ、區別シテ此罰則ヲ適用スル外ハナイノデアリマス

○村田保君 唯今政府委員ヨリ答辯ガアリマシテ、中ニハ御尤ナコトモアルケレドモ、中ニハ甚ダ感服シナイコトモアルガ、此上述ベレバ議論ニ亘リマスカラ本員ハ申述ベマセヌガ、豫メ本員ノ希望ヲ皆サンニ一應申上ゲテ豫メ御賛成ヲ願ヒタイ、本員モ是ハ第二讀會ニ移ルコトニハ一向異議ハナイ、反對デハナイガ、二讀會ニ移リマス、今マデノ慣例デ直チニ二讀會ヲ開クト云フコトニナッテ居リマス、本員ハ此案ニ修正ヲ加ヘタイト思ヒマスカラ、二讀會ニ移リマシテモ直チニ二讀會ヲ開クト云フコトヲ皆サンカラ御提出ニナラヌコトヲ本員ハ希望スル、順序ヲ誤ッテ居リマスガ豫メ本員ノ希望ヲ述ベテ置キマス

○金子堅太郎君 宜シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○金子堅太郎君 保險法ト云フノハ此法案ヲ見マス、ト云フト火災保險、生命保險、海上保險、其他ノ損害保險ヲ皆一律ノ下ニ總括シテアルヤウニ考ヘマスルガ、抑、生命、海上、火災ノ如キハ共ニ保險ト云フ中ニ在ルケレドモ性質ガ大變違フガ、多々アル中ニ此中ヲ見マス、ト生命保險ニ附イテハ云々ト云フ僅カ一箇條カ二箇條頃ッテゴザイマシテ他ノ事ハ別ニ何トモ言ッテナイガ、差支ナイモノデゴザイマス、種々難多ナ性質ノ違タモノヲ一律ノ下ニ置イテ差支ナイヤ否ヤト云フコトヲ御答辯ヲ願ヒタイ

〔政府委員岡野敬次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(岡野敬次郎君) 唯今ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、保險事業ニハ御話ノ通り色々ナ種類ガアリマシテ、先ヅ生命保險ト損害保險ト云フモノハ廣ク區分スルコトガ出来ル、又其損害保險中ニモ或ハ色々ナ種類ガアルノデアリマス、此各種ノ保險事業ニ附イテ總テ同ジ取締ノ規定ニ依ラセテ差支ナイモノデアアルカドウカト云フ問題ハ、生命保險ト云フモノハ特ニ取締ヲ必要トスルモノデアアルト信ズルノデアリマス、損害保險中ニ於キマシテモ海上保險ノ如キハ或ハ此主務官廳カラ様々ナ命令ヲ出シ、或ハ度々報告ヲサセルトカ、或ハ財産ヲ検査スルコト云フヤウナコトハ、事實ニ於テハ他ノ例ヘバ火災保險ノ如キモノニ比較シマシタナラバ、餘リ其必要ヲ見ナイコトデアラウト思ヒマス、火災保險ノ如キハ今日ノ日本ノ現況ニ於キマシテハ、隨分取締ヲ必要トスル點ガ多イノデゴザイマス、生命保險ニ於テハ尙更ノコトデアアルデ海

上保險ハ比較的、監督ト云フコトヲ履行スル必要ハナイノデ、其事ハ無論認メテ居ルノデアリマス、併ナガラ是ハ此主務官廳ノ監督權ノ運用ニ關スルコトデゴザイマシテ、事實ニ於キマシテハ海上保險ニ對シテ様々ナ命令ヲ發スル、或ハ度々検査官ヲ出張サセルト云フヤウナコトハナカラウト信ズルノデアリマス、併ナガラ此商法施行法ニ於キマシテ、矢張り此法案ノ如キ保險事業ハ其種類ノ如何ヲ問ハズ矢張り免許ヲ請ハネバナラヌ、又監督モスルト云フコトニナッテ居リマシテ、之ヲ改ムル必要ヲ認メナイノデアリマシテ、矢張り此法案ニ於キマシテモ商法施行法ノ精神ヲ取ッテ總テ大體ニ於テハ同ジ法規ノ下ニ支配スルト云フコトニシタノデアリマス

○金子堅太郎君 尙ホ少シ質問シタイ、暫クドウゾ……サウスレバ生命保險ノ取締法トカ、火災保險ノ取締法トカ云フ法律ヲ出スコトハセズシテ、此總括的ノ保險法デ總テノ警察的ノ取締モ被保險人ノ掛込シタ保險金ノ保管監督等モ總テ行政ノコトモ是デ遣ラウト云フ此法律ノ精神デアルヤ否ヤト云フコトノ御答辯ヲ願ヒマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマスルガ、保險業ノ種類ト云フモノハ先ヅ今日ノ所デハ生命保險、火災保險、海上保險ニ限ラレテ……實際ノ事實ニ於テ限ラレテ居ルト云フデ宜シイ、詰リ其危險ノ程度ヲ測定シ、即チ其危險ノ程度カラ保險料ヲ算出スルト云フ方法ガ備ッテ居ルナラバ其保險ノ種類ハ隨分澤山ニ出來ヤウト思ヒマス、外國ノ例ヲ見マシテモ損害保險ニ附イテモ生命保險ニ附イテモ今日日本ニ於テ行フヨリハ契約ノ種類ガ澤山ニアリマス、デ保險ノ種類ト云フモノハ詰リ限リナイモノデアリマスカラ、ソレデ或ハ將來起ッテ來ル所ノ保險事業ノ中ニハ今日ノ生命保險、火災保險、海上保險ノ區別ノ如キ取締ヲ履行スル必要ノナイモノモアリマセウガ、又中ニハ嚴重ナル規程ニ從ハシメル必要ヲ認メルモノモアリマセウト思ヒマス、ソレデ詰リ保險ノ種類ノ中ニ區別ガアッテ、其或ルモノハ隨分取締ヲ必要トスルモノモアリ、又或ルモノハ左程取締ノ必要ノナイモノモアリマスルノデ、詰リ其監督取締ト云フコトノ範圍ハ保險ノ種類即チ行政官廳ニ於テ其監督權ヲ動シテ行ク所カラ區別スル外ハナカラウト思ヒマス、警察ノ取締ノ如キハ矢張り此法律ニ於テ主務官廳デヤルカト云フ御質問デアッタヤウデアリマスガ、ソレハ此法律ニ於テ見テ居ル點デハナイノデゴザイマス

○金子堅太郎君 モウ少シ質問シタイ、サウスレバ此案ハ海上保險、生命保險、火災保險ノ種類ニ拘ラズ總括的ノ法律ト致シテ置イテ、後日若シ取締ノ

必要ガ生ズルトキニハ又其取締ノ法案ヲ出スカモ分ラヌト云フ御主意デゴザイマスカ、ソレチ一應確メテ置キマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答シマス、此法律ヲ以テ詰リ一般ノ保險事業ヲ支配スルト云フ考デアリマスカラ、將來ニ起ッテ來ル所ノ保險事業ニシテ今日ナイ所ノ保險事業ガ將來起リマシタナラバ、矢張り此法律ヲ適用スルト云フ今日ノ考デアルノデアリマス、尙ホ或ハ將來生ゼムトスル所ノ保險事業ニ附イテモ今日ニ在ル所ノ保險事業ニ附イテモ尙ホ一層取締ヲ嚴重ニセネバナラヌト云フ必要ガ生ジタナラバ、或ハ法律ノ改正ト云フヤウナコトノ必要モ生ズルカモ知レマセヌガ、今日此法律案ヲ提出致シマシタ主意ハ詰リ總テノ保險事業ヲ悉ク此法律デ支配スルト云フ考デアルノデアリマス、

○金子堅太郎君 唯今ノ保險事業ノ監督ヲ政府デスル點カラ見マスルト、責任準備金ノ如キハ日本銀行ヘ預ケテ積立テルト云フコトニナッテ居リマス、外國ノ例ヲ見テモ多クハ供託ヲサシテアル、而シテ其責任準備金ト云フモノハ公債證書カ又ハ確實ナル株券ト云フ様ニ其種類ガ示シテアル、現ニ大藏省カラ貯金銀行條例ノ改正案ヲ出サレタガ、人民ノ預ケ金ト云フモノハ政府ノ公債ニシテ預ケテ置ケト云フマデ政府ハ非常ニ供託主義ヲ取ッテ居ラレル、然ルナ今此保險業ニ附イテハ責任準備金……人民ノ粒々辛苦カラ積ンダ金、即チ死後ニ寡婦孤兒ニ與ヘムトスル金ニ附イテハ政府ハ一向供託ノコトハ示シテナイ、是ハ如何ノ譯デゴザイマスカ、一應伺ヒマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマスル、責任準備金利用ノ方法ニ附キマシテハ現行法ハ即チ商法施行法第九十八條ノ規定ガゴザイマス、即チ營業ノ免許ヲ申請シナケレバナラヌト云フコトニナッテ居リマス、ソレデ此責任準備金利用ノ方法ニ附イテハ固ヨリ生命保險ノ如キハ特ニ其利用ノ方法ヲ嚴重ニセネバナラヌト云フ必要ノアルコトハ言フチ俟タヌコトデアリマス、詰リ此利用ノ方法ガ成ルベク相場ノ高低ノナイモノデアッテ、而シテ得ルコトノ確實ナルモノデアッテ而シテ愈々權利ヲ執行スルト云フ時ニ容易ク其權利ヲ執行シ得ルモノニ利用シナケレバナラヌト云フコトモ亦論ヲ待タヌコトデアリマス、外國ノ……日本ノ今日ノ會社ノ規則ヲ見マシテモ農商務省ノ取ッテ居ル方針カラ見マシテモ決シテ總テノ責任準備金ヲ日本銀行ニ供託シナケレバナラヌト云フコトノ主義ヲ取ッテ居ルノデアリマセヌ、或ハ不動産ヲ抵當トシテ金ヲ貸スト云フコトモ許シテアリ、或ハ銀行ニ預ケテ置クト云フコトモ許シテアリマス、其預ケ金ト云フモノハ數箇ノ銀行ニ分割シテ之ヲ預ケナ

ケレバナラヌト云フ規程ハアリマスルケレドモ、併ナガラ之ヲ悉ク供託ナシ
ナケレバナラヌト云フコトヲ命ジテ居ルノデハゴザイマセヌ、デ不動産ノ如
キハ確實ナル利用ノ方法ニハ違ヒナイノデアリマスガ、併ナガラ愈々此必
要ノ迫リテ其權利ヲ行フ場合ニハ不動産ノ運轉ニ附イテハ稍煩雜ヲ免レヌ、

權利執行ト云フコトガ容易デナイカラシテ金額ヲ限リテ不動産ニハ是と
ヨリ用ヒテハナラヌ、又保險證券、生命保險ニハ解約額ト云フモノガアルカ
ラ其範圍内ニ於テハ被保險者ニ金ヲ貸シテ宜イ、保險證書ヲ抵當ニシテ金ヲ
貸シテモ宜イト云フコトモアルノデアリマス、外國ノ保險會社ノ計算ノ報告
ヲ見マスルト云フト不動産ヲ抵當ニ取リテ居ルノガ大部分ヲ占メテ居リマス、
又保險證券ヲ抵當ニシテ金ヲ貸スト云フコトモアルノデゴザイマス、併ナガ
ラ總テ責任準備金ト云フモノハ確實ナル銀行ノ一ツニ纏メテ預ケネバナラヌ
トカ、又ハ一ツニ纏メナイデモ銀行ニ預ケネバナラヌト云フコトニナルト責
任準備金ノ利用ノ方法ガ狹キニ失シテ爲ニ保險會社ノ計算上、有利の事業
ヲ爲スコトガ出來ヌト云フコトニナリマス、諸リ責任準備金ノ利用其他其保
管ノコトニ附イテハ此法律ニモ規程ガアルノデアリマスルケレドモ、併ナガ
ラ今ノ御質問ノ如ク必ズ責任準備金ハ確實ナル銀行ニ預ケテ置カナケレバナ
ラヌト云フコトハ命ジテ居リマセヌノデ、或ハ供託ヲ命ズル場合モアリマセ
ウシ、又或ハ金額ヲ限リテナラバ不動産ヲ抵當ニシテ金ヲ貸シテモ宜イト云
フコトヲ命ズルコトモアリマセウシ、又解約額ノ範圍内デアルナラバ保險證
券ヲ抵當ニシテ金ヲ貸シテモ宜イ、或ハ確實ノ公債證書ナレバ是ダケノ範圍
マデ買ッテモ宜シイト云フヤウナコトハ、是ハ各會社ノ責任準備ノ利用ノ方法
ヲ見テ又世ノ中ノ現況ヲモ見テ、サウシテ主務官廳ガ定メルト云フ積リデア
リマスガ、併ナガラ要スルニ成ルベク少クモ生命保險ニ於ケル責任準備ハ確
實ナル利用ノ方法ヲ取ラナケレバナラヌ主義ニ從ハヌナラヌト云フコトハ言
ハ俟タヌノデアリマスガ、唯法律ニハ限定シテハナイト云フコトヲ申上ゲテ
置キマス

○金子堅太郎君 株式會社ノ生命保險ハ或ハ營利的ノコトデアッテ保險金ハ
範圍ヲ狹クシテハ行ケナイ、色々運轉シテ利ヲ倍殖サセナケレバナラヌト云
フコトモアリマスガ、相互會社ノ如キハ大キナ工場ヲ持ッテ居ルトカ鑛山ノ
探掘ヲヤッテ居ルトカ云フ所デ相互會社ヲ設ケタトスレバ餘リ運轉スルノハ
却ッテ危險ガアル、サウ云フノハ半分以上ハ公債證書ニシテ積メト云フコト
モ隨分私是マデ聞イテ居リマスガ、ソレ等ハ第七條ノ利用ノ方法ト云フコト

ニシテ法律デハ一切ソレ等ノ大體ノ綱領ヲモ示サズシテ總テ定款ニ委シク書
ク主意デアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答ヲ致シマス、第七條ノ利用ノ方法ハ本條ニ
モ明示シテアリマス通り生命保險ニ限ッテ特ニ必要ト認メマシタノデアリマ
ス、是ハ別段ノ書面ヲ出サセルコトニナッテ居リマス、責任準備金ノ利用ノ方
法ニ附キマシテハ株式會社即チ營利法人デアルト相互會社即チ營利ヲ目的ト
セサル保險會社ノ間ニ多少ノ違ヒハアルカモ知レマセヌガ、根本的ニ違ヒハ
認メナイノデアリマス、ト云フノハ何レノ組織ノ會社ニシマシテモ責任準備
金ナルモノハ確實ノ方法デ利用サセネバナラヌ、確實ノ方法ニ利用シテ利益
ガアツタナラバ株式會社ニ在ッテハ之ヲ株主ノ間ニ分配スルノデアリ、相互會
社ニ在ッテハ固ヨリ營利事業ヲ爲スノデアリマセヌガ、併ナガラ適當ノ方法
ニ利用シテ剩餘金ガアレバ矢張り被保險者ニ割戻スノデアリマスカラ、方法
サハ確實デアレバ其確實ナル方法ニ利用シテ、餘リガアレバ其結局ハ即チ社
員タル被保險者ノ負擔ヲ輕カラシムルコトニナルノデアリマスカラ、其間ニ
於テ株式會社デアルト相互會社デアルトニ依ッテ根本的ノ違ヒハナカラウト
存ジマス

○金子堅太郎君 私ハ此百十六條ヲ以テ成立ッテ居ル重要ナ問題デ、未ダ多々
質問モアリマスガ、諸君ノ清聴ヲ煩ハシテ私一人デ占有スルノハ如何ト思ヒ
マスカラ、モウ一ツ質問シテ差控ヘマシテ尙ホ二讀會ニ能ク伺ヒタイト思ヒ
マス、ソレハ海上保險デアリマスガ、海上保險ハ御承知ノ通り殆ド世界ノ道
ヲ皆航行シテ居ル船舶デアルカラシテ、今日世界ノ海上保險ノ景況ヲ見マス
倫敦ガ中心ニナッテ海上保險ノ協會ガ倫敦ニアッテ殆ド海外貿易チスル保險會
社ハ倫敦ノあつそしえーしよん……協會ニ這入ッテ居ル、又這入ラナケレバ營
業ガ出來ヌ、這入ッタ結果デりいんしゆれんすト云ウテ世界ノ海上保險ト再
保險ノ契約ヲシナケレバナラヌ、日本ノ海上保險會社ニシテ倫敦ノ協會ニ加
入シ又世界ノ海上保險會社ト再保險ノ契約ヲ結ンデ其負擔カラ共同責任等ノ
契約ヲ爲ス場合等ノコトハ此規則ニハナイヤウデアリマスガ、ソレハドウナ
サル御積リデアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマスガ、本案ノ第十五條ニ於キマシテ
「保險ヲ營業トスル株式會社ノ定款ニハ……左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス、
一、保險ノ種類及ヒ營業ノ範圍」トアリマス「營業ノ範圍」ト云フ文字ハ現行
法ニモ用ヒテアル文字デアリマシテ、保險事業ハ之ヲ内國ニ限ッテ爲スモノ

デアルカ、或ハ擴メテ外國ニ於テモ保險事業ヲ爲スノデアルカモ極メサセルノデアリマス、是ハ株式會社デアリマスガ、相互會社ニ於テモ亦同ジコトデ、社員ハ内國人ニ限ルカ或ハ外國人ヲモ社員トシテ其者ト保險ノ契約ヲ爲スカト云フコトハ第二十七條ノ第一ノ「保險ノ種類及ヒ事業ノ範圍」ト云フ中ニ示サセル積リデアリマス、外國ニマデ擴メテ營業スルニ附イテハ果シテ會社ノ資本ガ相當デアルカ、營業ノ方法ガ確實ト認メラレルカト云フコトハ、各會社ノ定款各會社ノ事業ノ方法書ニ依ッテ判斷スルヨリ外ナカラウト思ヒマスガ、其「營業ノ範圍」ト云ヒ「事業ノ範圍」ト云フノハ恰モ御質問ノ内國ニ限ッテ營業スルカ外國ニモ及ボスカト云フコトヲ書カセルノ精神デアリマス

○馬屋原彰君 本員モチヨット政府委員ニ質問致シマスガ、先刻チヨット村田君カラ質問ガアッタヤウデアリマスガ、少シ要領ヲ聽キ取兼ネマシタノデアリマスカラ念ノ爲ニ伺ヒタイ、此案デハ會社ガ免許ヲ取消サレ又ハ其事業ヲ停止サレタ場合ニハ別段ニ救済ノ途ガ設ケテナイヤウデアリマスガ、本員共ノ考ヘル所デハ他ノ種類ノ事業ニ對シテ斯ウ云フ風ナ場合デハ大概訴願ナリ出訴ナリト云フヤウナ途ヲ設ケテアルヤウニ考ヘマスガ、此法案デハ一向サウ云フ途ガ開ケテナイ、是ハ政府デハドウ云フ御見込デ設ケテ置カナイノデアリマスカ、念ノ爲ニ伺ッテ置キタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 唯今ノ御質問ニ御答致シマス、此保險業法案ニ於キマシテハ行政官廳ノ處分ニ附イテ救済ノ途ハ特ニ設ケテアリマセヌノデアリマス、此救済ノ處分ニ對スル所ノ訴願並ニ行政訴訟ノコトニ附キマシテハ、目下政府ニ於テ調査中デアリマシテ、其法案ハ行政ノ訴願並ニ行政訴訟ニ關スル原則ヲ示スモノデアリマシテ其法案ノ定ムル所ニ依ルト云フノ精神ヲ以チマシテ此保險業法案ニハ特ニ其途ハ指定シテ置キマセヌデアリマス

○馬屋原彰君 唯今ノ御答辯デ見ルト何レ近日他ノ法案ガ出ル、其方ニ是等ノ場合ハ大概規定シテアルカラシテ此法案ニハ除イタト云フヤウナ御答辯デアッタヤウニ考ヘマスガ、ドウ云フモノデゴザイマスガ、マダ本員共ハ拜見ヲ致サヌデ分ラヌデゴザイマスガ、詰リサウ致スト矢張り此斯ウ云フ保險會社ガ免許ヲ取消サレ或ハ事業ヲ停止サレタト云フヤウナ場合ニハ救済ノ途ハ必要ナト云フコトハ御認めニナッテ居ルノデスカ、必ズ何レノ法律カニ於テ其途ハ設ケラレルト云フ御主意ナノデアリマスガ、尙ホ一應伺ヒマス

〔政府委員岡野敬次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマスガ、如何ナル行政上ノ處分ニ關

シテ訴願或ハ行政訴訟ノ途ヲ開クガ宜シイカ、其各法律ニ掲ゲテアル所ノ各事項總テ苟モ行政處分デアル以上ハ訴願若クハ行政訴訟ヲ許サヌナラヌモノデアアルカ、ソレハ各事項ノ性質ニ依ッテ違フノデアリマスカラ、今日ヨリ斯ク斯クノ事項ニ對シテハ訴願、斯ク斯クノ事項ニ對シテハ行政訴訟ヲ許スノデアルト云フコトヲ各事項ニ當ッテ茲ニ御答辯ヲ致スコトハ出來ナイノデアリマスケレドモ、併ナガラ先ヅ此行政處分ニ依ッテ或ハ利益ヲ害セラレ或ハ權利ヲ害セラレ、ト云フコトニ附イテハ先ヅ救済ノ途ヲ開クガ至當デアルト云フコトハ無論申上ゲテ宜カラウト思ヒマス

○馬屋原彰君 モウ一ツ煩ハシマスガ、今ノ御答辯デゴザイマスルト少シ要領ヲ得マセヌ、本員ガ質問致シタノハ此法案中デ即チ第三條ノ如キ是ガ免許ヲ取消ス場合、ソレカラ其次ハ第十三條ト云フヤウナ場合デハ事業ノ停止又ハ免許ヲ取消スト云フヤウナ場合ニハ……大分其他ニモアリマスガ、此場合ハ如何ト云フコトヲ實ハ御尋シタノデ、廣ク範圍ヲ他ノ所マデモ及ボシテ御尋シタ譯デアリマセヌ、今ノ條項ニ附キマシテハドウ云フ御見込デゴザイマスガ、矢張り救済ノ途ヲ要必ナリト云フ御見込デアリマスガ

〔政府委員岡野敬次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマス、先刻御答致シマシタ通り此行政上ノ處分ニ對シテ救済ノ方法ニ關スル事柄ハ目下調査中デアリマシテ、此法案ニ在ル所ノ各事項ニ附イテ果シテ救済ノ途ヲ悉ク開クカ、或ハ其中ノ幾分ニ附イテ救済ノ途ヲ與ヘルカト云フコトハ、調査中ノコトデアリマシテ茲ニ明言スルコトハ出來マセヌガ、併ナガラ何レ此法律ノミナラズ現行ノ行政法ニ附イテノ行政處分ニ關スル規則ヲ掲ゲルコト又其法律ニ規定シテアル事項ニ附イテ救済ノ途ヲ規定スルノデアリマスカラ、啻ニ此法案ニ附イテノミ明ニ御答スルコトハ出來マセヌノデ、ソレハ各種ノ法律ノ權衡上、權衡ヲ計ッテ其法案ニ規定セララルコトト存ジマス

○村田保君 本員ハ唯今馬屋原君ニ對シテノ政府委員ノ答辯ヲ伺ヒマスルト云フト訴願トカ訴訟トカ云フコトハ目下行政裁判法ノ調査中デアアルカラシテ、其方ニ在ルカラ先ヅ其事ハ此法ニハ掲ゲヌデ置クト云フヤウニ承リマシタガ、本員ノ仄ニ承ッテ居リマスル所ハ少シク政府委員ノ答辯ニナッテ居ル所ト違フカト思フ、政府委員ノ唯今ノ答辯ヲ見ルト是ニ掲ゲンデモ行政訴訟ノ方ニ定メテアルカラシテ其方ニ讓ルト云フヤウニ聽取レル、ソレハ政府委員ニハ斷言ヲ爲サルコトガ出來マセウカ、本員ノ承ッテ居ル所デハ之ニ反シマシ

テ唯今調査中ニナッテ居リマスル行政裁判法ト云フモノハ……唯今調ベテ居
リマスル行政裁判法ニハ別ニ規定ノナイモノハモウ訴願ノ提出權モナイト云
フコトデ、ソレ故ニ若シ之ニ掲ゲテナケレバ其權利ハモウナイコトニナルダ
ラウト本員ハ信ジデ居リマス、尙ホ一應其所チ伺ヒタイ

〔政府委員梅謙次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(梅謙次郎君) 行政裁判若ハ訴願ニ關シマスル法案ハ先刻岡野政
府委員ヨリ申上ゲマシタ通り目下調査中デアリマシテ、此調査ガ濟ミマス
レバ帝國議會ニ提出致シマシテ御協賛ヲ請ヒマスル次第ゴザイマス、其節
ニ此法案ニ於テ免許ノ取消ヲ致ストカ營業ノ停止ヲ致ストカ云フヤウナ處分
ニ對シ行政訴訟ヲ許スト云フコトニナッテ居ッテ、ソレデ諸君ガ宜シイト思召
スナラバ御可決ニナリマセウシ、若シサウナッテ居リマセヌデ是等ノ場合チ
モ矢張り行政訴訟ヲ許スベキ場合ノ中ニ加ヘナケレバナラヌト云フ御主意デ
アリマスレバ其節十分御修正下サルコトガ出來マスルノデ、此問題ダケニ附
イテ行政訴訟ノコトチ唯今規定致シマスルノハ或ハ他ノ場合トノ權衡ニ關シ
マスルカラ、玆デハ極メテ置カヌ方ガ行政訴訟ニ關シマシテ完全ナル法律ガ
出來マスルコトト考ヘマス、此際此點ニ附イテ斷乎タル御答ヲ致スコトハ出
來マセヌ

○馬屋原影君 モウ一應伺ヒマスルガ、ドウモ御答辯ノ要領ヲ得マセヌデゴ
ザイマスルガ、詰リ其御主意ノ歸スル所ト云フモノハ、不日出ル所ノ行政裁
判權限法トカ云フモノノ中ニ讓ル、其法案ヲ議スル際ニ當ッテ果シテ必要ガ
アルナラバ此保險業法ヲ入レテモ宜シ、ソレハ兎ニ角其時ノ協議次第ト云フ
ヤウナ御答辯デアリマスルガ、其點ニ至ッテ益々本員等ハ迷フノデス、既ニ
是マデ政府カラ提出ニナッテ居リマスル所ノ議案ニ於キマシテハ訴願ダノ出
訴ダノト云フ場合チ規定シテ居ル所ノ議案ガ澤山アル、一例チ舉ゲマスルト
云フト漁業法案杯ニモ掲ゲテアル、サウスルト云フト今御答辯ノ總テ不日出
ル所ノ裁判權限法杯ニ讓ッテ其他ノ法律ニハサウ云フ場合ハ掲ゲヌガ如ク御
答辯ガアルノトハ大キニ事實ガ相違シテ居ル、況ヤ不日出ル所ノ行政裁判權
限法ト云フモノハマダ我々ニハドウ云フモノデアアルカ分ラナイ、又是ニマダ
帝國議會ノ議決ヲ經タモノデナク唯未來ノモノデアアル、是ハ既ニ本日デモ是
ガ決議ニナリアマスレバ直グニ極マルモノデ、詰リ後ニ出ル所ノモノハ不極
リノモノ未定ナモノデアアル、未定ナモノニ依頼シテ以テ此法ノ不備ヲ見逃シ
テ置クト云フコトハ本員ハ甚ダ其當ヲ得ヌト思フデアリマスカラ、若シ第

三條ノ如キ第十三條ノ如キ場合ハ必要デアルト云フ御見込アレバ、其場合
ニ至ッテ或ハ本員ハ即チ修正ノ說ヲ提出致サウカト思ウテ、之ガ爲ニ實ハ御
尋シタノデアリマス

〔政府委員梅謙次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(梅謙次郎君) 行政訴訟ニ關シマスル一般ノ法律ヲ制定スルト云
フコトハ近來政府ニ於テモ調査ヲ致シテ居ル位ノコトデアリマス、前ニ起草
致シマシタル法案ニハ矢張り行政訴訟ノコトガ書イテアルカモ知レマセヌケ
レドモ、保險業法チ起草致シマスル際ニハ先刻申上ゲマシタル如ク行政訴訟
ニ關スル一般法律案ヲ作ル積リデアリマシタ、ソレデ其方ニ讓ッテ、サウシテ
保險業法案中ニ掲ゲナカッタデアリマス、調査ノ順序ガ保險業ノ方ガ先キニ
進ミマシテ先キニ提出スルコトヲ得マシタカラ御疑惑ノ生ジマシタコトハ御
尤デゴザイマスルケレドモ、行政訴訟ニ關シマスル一般ノ法案ノ調査ガ濟ミ
次第ニ又提出致シマスル、其法案ニハ行政訴訟ヲ許ス總テノ場合ガ掲ゲテア
ルコトニナラウト考ヘマスカラ、其中ニ唯今ノ場合チ掲ゲルヤ否ヤト云フコ
トハ、其法案ノ問題トシテ戴キタイノデアリマス、前ニ出シタル法案中ニ行
政訴訟ノコトガ矢張り書イテアリマシタケレドモ、ソレハ行政訴訟ニ關スル
一般ノ法律ノ出ルト云フコトチ豫期シナイデ起草シタモノト御認チ願ヒタイ

○馬屋原影君 分リマセヌガ、先ヅ議論ニナリマスカラ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 大抵質問モ盡キタヤウデアリマスカラ本案チ二讀
會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案チ二讀會ニ移スベシトシテ御異議
ハゴザイセマヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ其通りニ決シマス

○伯爵坊城俊章君 唯今ヨリ特別委員會ヲ催シタウゴザイマス、御差支ゴザ
イマセヌカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 何ノ委員會デスカ

○伯爵坊城俊章君 礦業條例ノ特別委員會デス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス、産牛馬組合法案、政府提出、
衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔伯爵清棲家教君演壇ニ登ル〕

○伯爵清棲家教君 委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、委員會ハ去

ル六日ニ開キマシテ其節種々御質問モゴザイマシタ、再ビ又昨八日ニ委員會ヲ開キマシテ質問モソレゾレゴザイマシテアリマスル、其質問ノ中ノ二三ヲ申上ゲマスレバ、全國ノ即チ組合ヲ設ケテ居リマス縣ガ十九縣ゴザイマシテ、此十九縣ノ中デ組合ノ數ハ百九十四アルト云フコトデゴザイマシタ、是等モ一ツノ質問ノ要點デゴザイマシタ、ソレカラ尙ホ政府ニ於キマシテハ馬種改良ト云フコトニ附イテ本議會又ハ次ノ議會ニ法律案ヲ提出スルヤ否ヤト云フコトガ疑問デアッタ、所デ政府ハ當議會デハ馬種改良ト云フコトニ附イテハ法律案ヲ提出セヌ見込デアルト云フコトデゴザイマシタ、故ニ願ハクハ次ノ議會デ斯ノ如キノ法律案ヲ提出シテ貰ヒタイト云フ希望デアリマシタ、ソレカラ本議案ニ附キマシテ審査ヲ致シマシタ所ガ諸君ノ御手許ニ配付ニナツテ居リマスル如ク衆議院ニ於キマシテハ新二十條ヲ加ヘマシテ、ソレニ二項ガ附イテ居リマスル、然ルニ是ハ衆議院デ修正ヲ致シマシタ所ノ十條サヘアッタナラバ斯ノ如ク二項ヲ附ケルニ及バナイ、如何ニモ案ジ過ギタコトデアル、斯ノ如キ事項ハ此所ニ掲ゲルニ及バナイ、又一ニハ漁業法案ニモ斯ノ如キ文字ガアッタ趣デアリマスルガ、斯ノ如キ事項ガ附イテ居ッタサウデゴザイマシタ、是ハ本院ノ委員會ニ於キマシテハ削除スルコトニ決シマシタ趣デゴザイマスル、故ニ本案ニ於キマシテハ衆議院デ修正ヲ致シマシタ十條ノ二項ト云フモノハ矢張り削除スルコト云フコトヲ委員會ニ於テハ決シマシタデゴザイマスル、其他本案ニ附キマシテハ何等ノ異議モゴザイマセズ全會一致ヲ以テ可決スベキモノト議了致シマシタデゴザイマス、故ニ此段御報告ニ及ビマス、御質問モゴザイマスレバ本員ノ記憶致シテ居リマスル限リハ御答辯致ス考デアリマス、ドウゾ滿場ノ諸君ハ御賛成ヲ願ヒタイト思ヒマス

○田中芳男君 特別委員長ニ御尋致スノデハゴザイマセヌガ、即チ政府委員ノ方ニ御尋致シタイト思ヒマス、幸ヒ政府委員モ御出席ノコトデアリマスカラ、チヨット御尋致シタイコトガアリマスル、此法案ニ附キマシテ私ハ異議ヲ申立テルヤウナコトハナク即チ唯今委員長ノ御報告通りデ結構ナ案ガ出來タト考ヘマスガ、其理由書ニ附キマシテ少シ政府委員ニ御尋致シタウゴザイマス、理由書ヲ見マスルト「種畜ノ供給」ト云フコトガアル「秣場ノ整理」ト云フコトモアリマスガ、種畜ノ供給ト云フコトニナリマスルト此組合ト云フモノハ今日日本全國一箇年ニドレダケ要ルト云フコトヲ計ッテ、ソレダケノ牛馬ヲ供給スルコトニナルデアラウト思フ、然ルニ此種畜ノ供給ト云フコト

ハ普通考ヘマスレバ馬ハ十五年使ヘルトカ若クハ二十年使ヘルトカ云フコトニナリマスルシ、牛モ亦同ジク十年ハ使ヘルト云フヤウナ大抵牧畜家ノ方デハ供給スル目的ガ定メラレテアラウト考ヘマスルケレドモ、今牛馬ヲ使役スル方カラ考ヘマスルト甚ダ粗暴ナ取扱方ガ多イ、例ヘテ見マスルト此馬ハ十五年使ヘルト云フモノガアノヤウナ使役ノ仕方デアレバ七箇年シカ活キテ居ナイ、若クハ七箇年ノ中ニ跛ナリ不具ニナツテ斃レルト云フコトニナル、牛ヲ使役スルノモ略ソレト同様ナコトガ多イト考ヘマスル、今牛馬ノ必要ナ爲ニ是非トモ供給ヲ圖ッテ全國ノ組合ヲシテ其邊ノ所ヲ計畫サセルト云フコトデアリマスレバ此牛馬ヲ使役スル方ニモ自ラ一ツノ制限ヲ立テルトカ若クハ行政上ノ取扱ノ事柄ヲ施行スルトカ云フヤウナコトハ此案ニ連レテサセマセネバ折角此組合法モ先キノ方ガ少シ濁ッテ居ルヤウニ考ヘマスガ、定メシ此法ガ通過シタ曉ニハ牛馬ノ取扱等ニ附キマシテ適當ナ條例デモ出ルコトトハ考ヘマスガ其邊ハ如何ナ御考デアリマスカ、私杯ハ此牛馬ヲ使役シマスル者ガ至ッテ粗暴デアルト云フコトニ附イテハ甚ダ遺憾ニ堪ヘマセヌ、從ヒマシテ此秣場ノ整理ト云フコトニ附イテ御尋致シマスガ、此秣場ト云フモノハ全國ニ甚ダ多イ、アレガ日本ノ牧畜場ノ牛馬ヲ養フニ度供給スル分量デアルカモ知レマセヌガ、兎ニ角秣場ト云フモノガ世間ニ多イ爲ニ農業上ノ進歩モ妨ゲ若クハ林業上ニマデ及ボシテ弊害ヲ爲スノガ秣場デアル、此ノ秣場ヲ整理シテ此處ハ農業上必要ナ所デアルカラ是非開墾サセルト云フノデ、ソレヲ立テルモ整理デアラウ、若クハ其秣場カラシテ年々野火ガ立ッテ林木ヲ燒盡シテ仕舞フト云フモ秣場ノ整理カト考ヘマスガ、定メテ其邊マデ此法案ハ届クモノデアラウト考ヘマスガ、サウナリマスレバ誠ニ結構ナ法案デアリマスガ、此法律ノ本文ニハナイコトデアリマスガ理由書ニ在リマス故ニ、其邊マデモ能ク御手が届クコトニナリマスレバ満足デアリマスカラ一應其邊ノ所ヲ伺ッテ置キマス

〔政府委員和田彦次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(和田彦次郎君) 唯今御尋ノゴザイマシタ牛馬ノ使役ノコトニ附キマシテハ唯今御話ノゴザイマスル通りニ随分慘酷ノ取扱方ヲ致シテ居ルコトモ當局者ニ於テモ認メテ居リマス、從ッテ今日ノ儘デ捨置キマシテハ將來保存ト申シテ宜ウゴザリマセウカ牛馬ノ使役期間ニ於テ影響スルデアラウト云フコトハ考ヘテ居リマス、其邊ノ取締ニ附キマシテハ本法デ特別ニ設ケテハ居リマセヌ、其邊ノコトノ取締ノ順序規定等ニ附キマシテハ十分政府デモ調

査ヲ致シマシテ更ニ案ヲ備ヘテ御協賛ヲ經ル場合ガアラウト考ヘマス、此組合法デハ組合ノ規約中ニ於キマシテ成ルベク其邊ノコトヲ自分デ成ルベクハシキニ堪ヘ其用途ヲ全ウスルヤウニ組合員自身ニ於キマシテ互ニ矯正サセルト云フ場合ニ此法律案デハ止メテ置キマシタ、ソレカラ秣場ノ整理等ノコトガ此理由書ニモゴザイマスルガ、是ハ法案デ命ジマスルコトニハ本案ニハ御覽ノ通りニナッテ居リマセヌ、是ハ各組合ニ於キマシテ其邊ノコトハ成ルベク規約ヲ設ケサセマス積リ、ソレデ政府ニハ如何ニスルト云フ考デアアルカト云フ御質問ノヤウデゴザイマシタガ、秣場ノコトニ附キマシテハ目今ノ模様デハ天然草ノ儘ヲ放牧致シマシテ秣ニ供シテ居ルヤウナコトデゴザイマス、是ハ成ルベク規約ヲ設ケサセマシテ牧草ヲ繁殖サセ、或ハ牧草ヲ繁殖サセマセヌマデモ舊來ノ牧場ニ於キマシテ一年若クハ二年、秣ヲ遊バセマシテ土地ヲ換ヘテ放牧サセマスヤウナ仕組ニ各組合ニ向ッテ規約ヲ設ケサセタイト云フ考デ居リマス、ソレカラ種畜ノ供給ノ御尋モアッタヤウデアリマスガ、此種畜ノ供給ハ此法律デ以テ斯ウセネバナラヌト云フコトハ定メテゴザイマセヌ、ソレハ地方地方ノ牛馬ノ組合ノ度合ニ依リマシテ其地方ノ適宜ニ任セマスコトデ、一概ニ全國一率ニ致スト云フ譯ニモ行キマセヌ、成ルベク是ハ組合ニ於キマシテ善良ナル所ノ種類ヲ設ケサセヤウナ規約ヲ設ケサセタイト云フ意思ヲ持ッテ居リマス、一應申上ゲテ置キマス

○松永安彦君 本案ニ對シマシテハ諸君ニ於カレマシテモ御意見ハナカラウト思ヒマスカラ、讀會省略ヲ以テ可決アラムコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 松永君ニチヨット申シマスガ、委員會ノ修正ガゴザイマスガ、讀會省略ニ附キテ規則ニ背ク譯デモナイデスガ、實際上、或ハ不便デハアリマスマイカト思ヒマス

○松永安彦君 御差支ガゴザイマスナラバ別ニ申シマセヌガ、私ハ委員長ノ報告通りヲ希望致シテ居リマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 松永君ノ讀會省略ノ動議ガゴザイマシタガ別段ニ贊成モゴザイマセヌカラ成立チマセヌ、本案ヲ二讀會ニ移スベシト云フ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数ト認メマス

○伯爵清棲家教君 議事日程ヲ變更サレマシテ直チニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

〔贊成〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ直チニ二讀會ヲ開キマス、第一條ヨリ第九條マデナ問題ニ供シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス、次ハ第十條

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ載録ス以下之ニ同シ〕

第十條 本法施行以前ニ地方長官ノ認可ヲ經テ設置シタル產牛馬組合ニシテ本法ノ規定ニ抵觸セサルモノハ本法施行ノ日ヨリ本法ニ依リ設置シタルモノト看做ス

本法施行以前ニ本法ニ抵觸スル條項ヲ改正シタルモノ前項ニ同シ

(特別委員會修正案)

第十條 本法施行以前ニ地方長官ノ認可ヲ經テ設置シタル產牛馬組合ニシテ本法ノ規定ニ抵觸セサルモノハ本法施行ノ日ヨリ本法ニ依リ設置シタルモノト看做ス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ委員會ノ修正ニ決シマス、是デ二讀會ハ終リマシタ

○伯爵清棲家教君 議事日程ヲ變更シテ直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

〔贊成〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ三讀會ヲ開キマス、御異議ガナクバ原案ニ決シマス、東京市ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會

東京市ニ關スル法律案

右本院提出案及送付候也

明治三十三年二月六日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

第一條 東京市ノ公共事務ニ付テハ特ニ内務大臣直接ニ之ヲ監督シ市制中

府知事又ハ府參事會ノ職權ニ屬スヘキモノハ總テ内務大臣ニ專屬ス

第二條 前條ノ事務ニ關シ市制中府知事又ハ府參事會ヲ經由シ行政裁判所ニ出訴スヘキモノハ直ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

內務大臣ノ懲戒處分ニ對シテハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス
第三條 市制中府參事會ニ於テ市會又ハ市參事會ニ代リ處分スヘキ場合ハ
市長內務大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ處分シ次ノ市會ニ報告スヘキモノトス
第四條 本法規定ノ外ハ總テ市制ヲ適用ス

附則

本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(公爵近衛篤磨君) 別段御質問等ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス、議
長ニ於テ指名致シテ宜ウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 殖林ノ爲設定シタル地上權登記ニ關スル法律案、
衆議院提出、第一讀會

殖林ノ爲設定シタル地上權登記ニ關スル法律案
右本院提出案及送付候也

明治三十三年二月六日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

不動産登記法施行前ニ殖林ノ爲設定シタル地上權ノ登記ハ本法施行ノ日ヨ
リ一箇年內ニ限り地上權者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得但シ本法施行前
適法ニ登記シタル第三者ノ權利ヲ害スルコトヲ得ス
前項ノ申請ヲ爲スニハ其ノ權利ヲ有スルコトヲ證スルニ足ルヘキ官吏、公
吏ノ認證シタル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

○議長(公爵近衛篤磨君) 是亦別段御質問等ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ議長ニ於テ指名シマス、蟲害地地
租特別處分法案、衆議院提出、第一讀會

蟲害地地租特別處分法案

右本院提出案及送付候也

明治三十三年二月六日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

蟲害地地租特別處分法

第一條 本法ハ明治三十二年中德島縣那賀郡立江村坂野村羽ノ浦村ニ於テ
螟蟲ノ害ヲ被リタル土地ニ適用ス

第二條 前條ノ土地ニシテ收穫皆無ナルモノニ限り明治三十二年分地租ヲ
免除ス

第三條 前條ニ該當スル土地ノ地租延納年賦金ハ明治三十二年分ニ限り
之ヲ免除ス

第四條 本法ニ依リ被害取調中ハ其ノ地租徵收ヲ猶豫ス

第五條 本法ニ依リ地租ヲ免除セラルヘキ土地ニ付既ニ納メタル地租金ハ
之ヲ還付ス

第六條 本法ノ施行ニ關シテハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

第七條 本法ニ依リ處分ヲ受ケムトスル者ハ明治三十三年三月三十一日迄
ニ收穫ノ皆無タリシ事實ヲ證明シ所轄稅務署ニ申請スヘシ此ノ期限內ニ
申請セサル者ハ本法ノ處分ヲ受ケルコトヲ得ス

附則

本法ニ依リ免除シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除セス

○議長(公爵近衛篤磨君) 是モ御發言ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス、議長
指名デ御異議ガゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ暫時休憩シマス

正午休憩

午後一時八分開議

○議長(公爵近衛篤磨君) 今朝御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報道
致シマス

〔河田書記官朗讀〕

東京市ニ關スル法律案特別委員

子爵岡部 長 職君

久保田 讓君

兒玉淳一郎君

殖林ノ爲設定シタル地上權登記ニ關スル法律案特別委員

渡邊 洪基君

南郷 茂光君

澤 簡 德君

男爵園田 安賢君

木下 廣次君

菊池長四郎君

子爵堤 功 長君 男爵千家 尊 福君 谷森 眞男君

富田 鐵之助君 森 山 茂君 武井 守 正君

富井 政章君 山本 忠 秀君 岡田 太平治君

蟲害地租特別處分法案特別委員

子爵立花 種 恭君 子爵仙石 政 固君 子爵板倉 勝 達君

男爵鍋 島 幹君 田中 芳男君 男爵金子 有 卿君

男爵平 野 長 祥君 三木 與吉郎君 天春 文 衛君

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、國事犯罪者家祿賞典祿處分法案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔子爵長岡護美君演壇ニ登ル〕

○子爵長岡護美君 此國事犯罪者ノ家祿並ニ賞典祿處分法案ハ是マデ度々衆議院カラ提出ニナリマシテ貴族院ニ於テハ調査中ニ議會ガ終リマシタデ是レマデ可否ヲ決スルト云フコトナシニ終ッタ案デアアルノデリマス、ソレデ數回衆議院カラモ提出ニナリマシタシ、本員等ニ於テモ成ルタケ公平ナ考ヲ以テ此法律上ノ點カラ十分ニ調査ヲ致シタ次第デアリマス、衆議院ノ方デ提出シタル所ノ理由ハ即チ此第一條ニ掲ゲテアル通りデアリマシテ「國事ニ關スル犯罪ノ爲家祿賞典祿ヲ沒收セラレ明治二十二年勅令第十二號ニ依リ大赦ヲ與ヘラレタル者及現ニ其ノ家名承繼人タル者ニ限リ其ノ沒收セラレタル當時ノ祿高ニ基ツキ明治九年太政官第百八號布告第一條」云々、即チ此家祿ヲ金祿公債ニ換ヘラレタトキノ布告デアリマスガ、其率ニ依ッテ此金祿公債證書額ニ相當スル金額ヲ國庫カラ支出シテ給與スルコトニナリタイト云フ案デアリマス、固ヨリ衆議院カラ提出ニナッタ所ノ精神ニ於テハ成ル程本員等モ其感ナキニシモアラヌノデアリマスガ、如何セム本員等ガ調査ヲ致シタル所ニ依レバ此明治三年九月十日藩制施行ノ時テ境界ト致シテ即チ法律ヲ定メラレマシテ、其以前ニ遡ル所ノモノハ如何ナル事情ガアルトモ家祿ヲ給與スルト云フコトハ出來ナイコトニ極メラレテアルノデアリマス、ソレデ此境界ナ一ツ破ルトキニハ法律ニ變更ヲ來タシテ到底權衡ヲ失フト云フコトニナルノデアリマス、ソレノミナラズ明治三年九月以前ニ遡ルトキニ於キマシテハ明治二十二年勅令第十二號ノ第二條ニ「舊法ニ依リ處斷セラレタル罪ト雖モ其性質前條ニ記載シタル罪ト同一ナル者ハ之ヲ赦免ス」ト云フコトニナッテ居リマシテ、此舊法ト云フモノハ新律綱領、改定律例、各藩ノ律又司法省ヨリ太政官ニ

伺ノコトニ附イテ指令ノアッタモノヲ指スノデアリマスガ、是ニハ種々ノ關係ガアリマシテ、此各藩各自ノ規定ニ依ルヤウナコトニナッテ參リマス、是ハ中々錯雜シテ到底公平ナル結果ヲ得ルト云フヤウナコトハ得難イ譯デアアルノデアリマスデ、之ヲ既往ニ遡ルト云フコトニナリマス、國庫ノ關係ト云フモノモ中々重大ノコトニナラウト考ヘルノデアリマス、デ本員等ハ此點ニ於テ、ドウシテモ之ヲ既往ニ遡ルト云フコトハ出來ヌト云フ考デ否決ヲ致シタ次第デアリマス、又内閣委員ノ意見ニ依レバ、若シ元ニ遡ルト云フコトニナレバ此上益、不公平ナ結果ヲ來タシテ際限モナキコトニナルノデ、其不公平ヲ如何ニ處理スルカト云フコトハ到底出來ヌト云フヤウナコトニ述ベラレルノデアリマシテ、是モ一理アルコトデアリマス、例ヘバ大赦令ノ出ル前ニ特赦ヲ受ケタ者モアリマセウシ、又此復祿者モ丁度矢張り藩制施行ノ日チ即チ境トシテアルコトデアリマスカラシテ、此大赦令ノ方デ即チ此國事犯罪者ノ方ニ家祿ヲ與ヘルト云フコトニナレバ又復祿者トノ間ニモ非常ナ不權衡ヲ來タスコトニナルノデアラウト考ヘルノデアリマス、併シハ内閣委員ノ意見ヲ私ガ唯今申上ゲタ譯デアリマスガ、本員等ハドウシテモ前ニ申上ゲタ通りドウモ既往ニ遡ルト云フ一點デ、ドウシテモ是ハ衆議院ノ提出案ニ同意サレヌト云フコトニ議決ヲシタ次第デアリマス、デ前ニモ申上ゲマシタ通り此明治二十二年勅令第十二號ノ第二條ヲ能ク御覽下サイマス、此「舊法ニ依リ處斷セラレタル罪ト雖モ」云々トアル、此第二條即チ此規定ガドウシテモ前ニ遡ッテハ斷然之ヲ否決ト致シタ次第デアリマス、何卒是ハ二讀會ニ移スベカラズト議決アリタイト本員等ハ望ムノデアリマス、尙又詳細ノ御尋ガアレバ内閣委員モ出席ニナッテ居リマスカラ、ドウカ手續上ノコトハ御尋ニナルコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 別段御發議ガナクバ採決ヲシマス、本案チ二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數デゴザイマス、本案ハ否決ニナリマシタ、裁判所設立及管轄區域變更ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(特別委員長修正案)

(特別委員長修正案ハ左傍ニ直線ヲ施シタルハ字ヲ削除セ)

福岡		久留米市 三井郡
吉井	久留米	三井郡ノ内
	筑後	安武村 大善寺村 島飼村 荒木村 三井村 犬塚村
筑後	八女郡ノ内	
	星野村	
浮羽郡		

〔男爵渡邊清君演壇ニ登ル〕

○男爵渡邊清君「本案ハ衆議院ノ提出デ政府モ之ニ同意スルト云フコトデア
リマス、其同意スル次第ハ、民法ノ實施以來、追々此區裁判所ノ仕事が増シテ
來マシテ、親族會議ノ裁決トカ或ハ鑑定ノコト、證據ノコト、其他戶籍上ニ關
シテ婚姻ノコト等モ皆村長ノシ居ッタコトヲ區裁判所デ扱ハナケレバナラマ
ト云フコトニナリマシタ、其爲ニ人民モ區裁判所ニ遠隔デハ甚ダ困難ヲ致シ、
又區裁判所モ事務が大層多クナリマシタノデ、何分區裁判所ノ數ヲ少シ増加
致サネバ困却ダト云フ所ノ狀態ガアチラコチニ見エマス、ソレニ附イテハ
隨分地方カラ司法省ニ向ッテノ請願モ數々アル様子デゴザイマスガ、サウ一々
コレニ應ズル譯ニモ行カズ、先ヅ本案ニ顯レテ居ル所ノ八箇所位ハドウゾ新
設ヲ致サネバナラヌト云フコトデ政府モ同意サレテアルコトノ様子デゴザイ
マス、然ル處ガ本案ハ最前本院ニ於テ可決致シタ所ノ管轄ノ區域ヲ變更スル
法案トハ違ヒマシテ八箇所ノ區裁判所ヲ新ニ設置スル譯デアアルカラ、其資金
ガ要用デアリマス、其資金ノコトニ附イテハ委員會デモ隨分綿密ニ質問ヲ致
シ且ツ審査モ致シマシタ、併シ餘リ細ニ申ス必要モアルマイト思ヒマスカラ
大體ノコトヲ申上ゲマス、先ヅ一箇所ニ附イテ其經費ハ凡ソ三千八百四十圓
餘ヲ要スル様子デゴザイマス、之ヲ八箇所トスルト七萬七百二十圓餘ニナル
譯デゴザイマス、又臨時費即チ建築費ト云フモノハ如何ト云フニ、是ハ一箇所
ニ附イテ北海道ハ凡ソ二萬圓、内地ハ凡ソ一萬六千圓ト云フコトノ様子デゴ
ザイマスガ、其二萬圓ト云フ北海道ハ何故ニ斯ウ多イカト云フニ、是ハマア土
地ハ格別高イコトモナシ又隨分新ナ土地モアリマセウカラ其點ニハ便利デア
リマスガ、何チ云フモ此判事檢事等ノ住フ官舎ガナイ人民ノ家ガナイ譯デソ、
レ故ニ官舎ヲ建テネバナラヌカラ費額ガ上ボルデゴザイマス、内地ハ其官
舎ノ憂ハナイケレドモ土地ヲ買上ゲネバナラヌ其土地代ガ高イノデアアル、ソ
レ故ニ右申ス様ナ次第此八箇所ヲ合セルト凡ソ十四五萬圓要スルト云フ譯
デアアル、果シテ之ヲ一時ニ設立スルト云フニナレバ經常費臨時費デ十八萬圓

バカリモ要スル様子デゴザイマス、然ル處ガ之ニ附イテ段々主務省カラモ大
藏省ニ問合ヲ致シテ見タ様子デゴザイマスガ、何分本年ハ十八萬圓ト云フ金
額ヲ追加豫算トシテ出ス裕餘ガナイ、ソレ故ニ段々ト調査ヲ致シテ見ルニ十
萬圓位ハドウカ繰合セガ附カウト云フコトノ様子デゴザイマス、依ッテ四箇所
位ハ本年中ニモ設立ガ出來ル様子デゴザイマス、勿論其四箇所ト云フハ差當
リ北海道ガ困ッテアル様子デ、御承知ノヤウニ屯田兵ト云フモノモ遠方ハ懸離
レテアルカラハ是ハ尤ノコトト思ハレル、ソレデ法律案ニモ第六條ニ於テ開
廳ノ期日ハ司法大臣之ヲ定メルト云フノデゴザイマスカラ、殘ッタ分ハ來年三
十四年度ニモナラウカ、萬一是デ行ケルナレバ五年度ニハ全ク行ケル見込
ノ様子デゴザイマス、此譯デゴザイマスカラ先ヅ委員會デハ全會一致デ可決致
シタ譯デゴザイマス、然ルニ此表中ニ修正ヲ致シテゴザイマス、修正ト云フダ
ケデモアリマセヌケレドモ八女郡ノ中星野村ト云フ文字ヲ削除シテアリマス
、是ハ餘儀ナイコトデ削除ヲ致シタノデ、行違ノ譯デ、此法文ノ中ヘ此文字ガ
顯レテ參ッタノデゴザイマス、其譯ハ元ト此星野村ハ久留米ノ裁判所ノ管轄内
デアッタ、ソレヲ先達デノ區域變更ノ法律案ニ八女郡ハ悉ク八女郡中ヲ管轄致
シテ、デ福島、八女郡ニ福島ト云フ所デゴザイマス、此福島ノ區裁判所デ一
切管理スルト云フコトニナッタノデゴザイマス、ソレ故ニ此事ガ是ニ加ッテ久
留米ノ區裁判所ニ加ッテ參リマスルト又元ニ返ルヤウナ譯ニナリマス故ニ已
ムヲ得ズ削リマシタ、之ヲ削ッテ置ケバ最前ノ議決ノヤウニ矢張り八女郡ノ福
島町ノ區裁判所ニ於テ管理スルヤウニナリマス、デ又承ル所ニ依レバ衆議院
モ一兩日前ニ最前貴族院ノ可決ノ通り可決シタ様子デゴザイマス、益々以テ是
ハ削ラネバナラヌ譯ニナッテ來タノデゴザイマス、然ル處之ヲ其全ク吉井ト云
フ所ニ區裁判所ヲ新ニ置クト云フコトニナリマスルト矢張り吉井ノ管轄ニナ
ル方ガ土地モ半、近イ位デゴザイマスカラ宜カラウト思ヒマスケレドモ、何分
即今ノ所、吉井モ區裁判所ヲ置ク譯ニナリマセヌ、是ハ何レ來年カ再來年ニナ
ル譯デゴザイマスカラ、即今ノ所ハ先ヅ八女ノ福島管理スルガ相當デア
ルマア譯デゴザイマス、右ノ次第デ政府モ既ニ同意ニナリ又會計ノコトモ略
見込ナル様子デゴザイマスカラ、ドウカ別段ニ御異存ガナイナラバ讀會ヲ
省略シテ可決ニナラムコトヲ希望致シマス

○子爵唐橋在正君 讀會省略ニ贊成

○男爵中川典長君 讀會省略ニ贊成

○子爵大久保忠順君 贊成

○色部義太夫君 讀會省略ニ賛成

○男爵本多副元君 賛成

○子爵長岡護美君 賛成

○男爵千家尊福君 賛成

○小原重哉君 讀會省略ニ賛成

○議長(公爵近衛篤磨君) マダ足りマセヌ

○子爵小笠原壽長君 賛成

○子爵堤功長君 賛成

○子爵鍋島直柔君 賛成

〔此他「賛成」ト述フル者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ノ動議ガ成立チマシタ、是ハ此案ニハ修正ガアリマスルガ、讀會省略ノ動議ガ成立、テ居リマスルカラ、ソレニ附イテ先ヅ決ヲ採リマス、讀會省略ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 三分ノ二以上ト認メマス、次ニ委員會ノ修正ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ修正ニ決シマス、次ハ帝國教育會國庫補助ニ關スル建議案、子爵長岡護美君外四名發議、會議

帝國教育會國庫補助ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治三十三年二月五日

發議者 子爵長岡 護美

辻 新次

野崎 武吉郎

賛成者 公爵二條 基弘

外百十名

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

帝國教育會國庫補助ニ關スル建議

我カ國刻下ノ情況ニ於テ益々教育ノ發達進歩ヲ圖ルヘキハ固ヨリ論ヲ俟タス而シテ教育事業ハ其ノ關スル所ノ範圍極メテ廣大複雑ナルヲ以テ其ノ充

分ナル發達ヲ期セント欲セハ必ス先ツ公私各種ノ機關ヲシテ其ノ活動ヲ健全ナラシメサルヘカラス現ニ私設ノ教育機關ニシテ國家ノ教育事業ヲ補助參畫スルモノ尠ナカラスト雖就中帝國教育會ハ書籍館ヲ設ケテ講學者ニ便シ夏季講習會及各種ノ學術講義會ヲ開キテ普通教育ニ從事スル教員ノ學術ヲ進メ或ハ全國聯合ノ教育會ヲ開設シテ廣ク教育社會ノ氣脈ヲ疏通シ又ハ教育上須要ノ事項ヲ調査研究シテ公私ノ參考ニ供スル等教育上ノ裨益ヲ圖ルコト頗ル顯著ナリト謂フヘシ殊ニ同會ニ國字改其部ヲ設ケ國語國字ノ改良調査ニ從事セルカ如キハ最時宜ニ適スル美舉ト謂ハサルヘカラス若政府ニシテ此等ノ事業ヲ保護誘導シテ其ノ發達ヲ助長セハ國家教育上便益ヲ得ルコト愈々大ナルヘシ去ハ政府ハ帝國教育會ニ相當ノ補助金ヲ與ヘ以テ該會ヲシテ國家教育事業翼賛ノ實ヲ舉ゲシメムコトヲ希望ス依テ茲ニ之ヲ建議ス

〔辻新次君演壇ニ登ル〕

○辻新次君 諸君、此帝國教育會補助ノコトニ關スル建議案ニ附キマシテ提出致シマシタ理由ヲ簡短ニ申述ベヤウト思ヒマス、凡ソ教育ヲシテ普及改良増進セシムルニハ各種ノ機關ヲ備ヘネバナリマスマイト思ヒマス、勿論教育ノ事業ノ如キハ廣大且ツ煩雜ノ事業デゴザイマスカラシテ、從ッテ其機關モ複雑繁多ナモノト存ジマス、其機關ノ先ヅ重ナルモノヲ一ニ舉ゲマスレバ、學校、又此學校ノ中ニハ矢張り種類ガ澤山アリマシテ大學、中學、小學……大學ト申セバ或ハ法科、醫科、理科、文科、工科、其他アリマセウ、又其外ニ幼稚園、女學校、書籍館、又チヨット戻リマスガ學校ノ中ニハ農學校、商業學校、工業學校、或ハ農林學校、盲啞學校、白痴ノ學校、斯ウ云フモノヲ數ヘマシタナラバ多クアラウト思ヒマス、其他博物館或ハ商品陳列場、學校ノ中デ尙ホ落シマシタガ或ハ海陸軍ノ士官學校ト云フモノノ如キトカ、感化院、動物園、植物園、講義會、各種ノ學術會、各種ノ教育會、孰モサウ云フモノガ或ハ官立、或ハ公立、或ハ私立ヲ問ハズ皆完備致シマセヌケレバ詰リ教育ヲシテ十分普及増進セシムルコトガ難イコトト存ジマス、ソレ故ニ我國ハ申スマデモアリマセヌ歐米ノ諸國ノ有様ヲ見マシテモ皆サウ云フモノヲ備ヘテ居ル次第デアリマス、然ルニ是等ノ建造物ハ多クモ多ク利益ガ多イノデアッテ且ツ經濟的ニ參ル次第デアリマス、右様ノモノガ備ッタ以上ハ國家ノ富強文明ニ進ミマスコトハ勿論ノコトデゴザイマス、併ナガラ其モノ直チニ利益ヲ得ルト云フコトハ殆ド少イ品柄デゴザイマス、成ル程中ニハ學校デ申

セバ些少ノ授業料ヲ取ルト云フヤウナコトハアリマスケレドモ、ナカナカソレ等ヲ以テ此事業ヲ維持致シマスルト云フコトハ最モ難イコトデアリマシテ、即チ我國デモ官設ノモノガアリ又公設ノモノガアリ、又其公設ノモノニハ國庫ヨリ補助シテ居ルモノモアリマスルシ、又私設ノモノモアリマス、其私設ノモノニ對シテハ國庫並ニ府縣ノ公費デ補助シテ居ルモノモゴザイマス、歐米ノ有様ヲ見テモ多クハサウ云フ有様デス、官デ拵ヘテ居ルモノモアリマスシ、又公立ノモノニ國庫ヨリ補助シテ居ルモノモアリマスシ、又私設ノモノニ補助シテ居ルモノモアリマスシ、且ツ多ク私設ノモノハ或ハ大家ノ遺金デ資本金ガ出來テ居リマス、或ハ慈善家ガ大ナル金員ヲ出シテ維持シテ居リマス、云フヤウナモノガ多ウゴザイマス、此教育ニ關係シマス機關ノ如キモノニハ、右様ノ機關ヲシテ十分ニ利益ノアルヤウニ致マスレバ、到底之ヲ何カデ維持シ、或ハ保護スル途ガナケレバ詰リ十分ナル務達ヲ見ルコトハ餘程難イ品柄ト思ヒマス、今日ノ問題ハ教育會一ツノコトデアリマス、カラ尙ホ進ンデ是カラ教育會ノコトニ附イテ簡短ニ一言申述ベヤウト思ヒマス、教育會ハ全國ニ跨リマシタノハ帝國教育會デ、其他各府縣或ハ郡區等ニソレソレニ教育會ガアリマシテ是等モ矢張り府縣ノ教育會ニハ府縣ノ費用デ補助シテ居マスモノモ大分ゴザイマス、ソレデ府縣ニ對スル教育ノ事業ニ裨益ヲ與ヘテ居ルト云フヤウナ有様デアリマス、帝國教育會ハ實ハ明治十二年ノ頃ニ端緒ガ開ケマシテ稍々成長致シマシタノハ明治十六年デゴザイマス、十六年ニ於テ日本教育會ト云フモノヲ設ケ今日ハ帝國教育會ト申シテ居リマス、唯名稱ガ變タダケ其事業モ其性質モ一向變ッテ居リマセヌ、此帝國教育會ハ前ニ申述ベマシタ如キ矢張り機關ノ一ト爲ッテ國家ノ教育ニ裨益ヲ與ヘルト云フコトニ努メテ居ッタコトデアリマス、所ガ實ニ此教育ノ事業ハ多端デアリマス、又研究調査ナスベキコトハ随分細密ノコトマデニ涉ラヌケレバナラヌコトデ、遂ニ費用ノ十分ナラヌ爲ニ今日マデ十分ノ仕事ヲ爲シテ居リマセヌ、殊ニ當初ノ目的ハ先ヅ講義會ヲ開キマスシ、或ハ講義會トモ講義會トモ或ハ學術講義會トモ教育講義會トモ種々ナ名ヲ附ケテ居リマス、ガ詰リ講義會デアリマス、是等ハ御承知ノ通り佛蘭西ノこんせとばとある音樂ノこんせとばとある技術手藝ノこんせとばとある、抔ト云フヤウナモノハ餘程益ヲ爲シテ居ルヤウニ承知シテ居リマス、是等モ國庫デ政府ヨリ費用ヲ出シ或ハ補助シテ居リマス、ヤウナ次第デアリマス、教育ノコトハ先刻モ申述ベマシタ通り獨リ學校バカリデハナク書籍館、或ハ

講義會、講義會ノ如キモノハ……學校ハ御承知モアリマス通り年齡時間等ガ極ッテ居リマシテ、他ニ多少ノ事業ニ關係シテ居ル者ハ詰リソレニ十分臨ンデ授業ヲ受ケルコトガ出來マセヌガ、或ハ晝、或ハ夜間ニ講義會ダノ書籍館ト云フモノヲ設ケテ置キマスカラ、ソレニ隨意ニ行ケルト云フ道、又ハ自分ノ好ム所ノ學術ダケヲ取調ベルト云フ品デゴザイマシテ最モ利益ヲ得ルニ餘程便法デゴザイマス、ソレ故ニ帝國教育會ハ二十年ニ通俗書籍館ト云フ積リデ神田區ニ一ツ拵ヘマシタ、併ナガラ當初ノ目的ハ少シモ東京市ニ四ツ位ハ拵ヘタイト云フ考デゴザイマシタケレドモ、其一ツノ維持スラ餘程困難ナ位デゴザイマス、此書籍館ノ教育上ニ必要ト云フコトハ業已ニ昨年デゴザイマシタカ一昨年デゴザイマシタカ文部省ハ書籍館令ト云フモノヲ出シテ府縣郡區私設ニ此設立ヲ獎勵致シテ居ルヤウナコトデアリマス、業已ニ其書籍館ヲ私設トシテ帝國教育會ハ二十年ニ拵ヘマシタヤウナコトデアリマス、所ガ唯今申述ベマシタ通り一向マダ當初ノ目的ヲ達シテ居リマセヌカラ、之ヲ擴張シ尙ホ二三ノ場所ニ設立シタイト云フコトデゴザイマス、ソレカラ講義會ノコトデ申上ゲマスレバ或ハ夏期講習會、ソレカラ定期ノ講習會、昨年ノ一例ヲ申述ベテ見マスレバ民法、經濟法、其間ニ亞米利加カシテ心理學者ノラッポト云フ人ガ來マシタカラシテ之ニ心理學ノ講義ヲサセマシタ、ソレカラ又教育學、ソレカラ夏期講習會デアリマス、是等ハ現在教職ニ就イテ居リマスル中學校、師範學校、高等女學校、小學校ノ教員ニ新シイ所ノ學術ヲ進メテ彼等ノ學力ヲ劣ラヌヤウニ益々進メテ行クト云フ方針ヲ取ッテ居リマス、ソレカラ此講義會ノコトニ附キマシテハマダ申上ゲマスレバ多クアリマス、モウ大抵ニシテ置キマセウト思ヒマス、其他ズット以前カラノコトデアリマス、日本ノ國字、國文、國語デゴザイマス、之ヲ改良セヌケレバナラヌ、或ハ漢字ノ數ヲ極メルトカ、或ハ假名ニ致シマスルトカ、或ハ羅馬字ニシマスルトカ云フヤウナ種々ナ説ガアリマス、到底今ノナリデ措クコトハ出來ヌト云フコトハ教育者トカ學者トカ……實際ノ上カラシテ今日デハ餘程切ニナリマシテ、ドウナリ……其方法ハナカナカムツカシイコトデアリマス、ケレドモ此レナリデ或ハ言フコトト書クコト、或ハ通例ノ文章ト手紙ノ文章トノ異ナッテ居ル事柄、種々ナ複雜不規律ナコトデゴザイマス、是等ヲ改良スルト云フコトハ私共ノ耳ニシマス所デハ殆ド輿論ト申シテモ宜イ位ニ聞及ンデ居ル所デゴザイマス、所デ此事モ既ニ帝國教育會ハ著手致シマシテ折角此調査ニ著手シテ居リマス、是等モ唯論ジマシタダケハ一向益ノ

ナイコトデ、餘程新規ニ調上ゲテ其物ヲ書物ナラバ著シ、スツカリ持へ上ゲヌケレバナラヌ品柄デアリマス、所ガ是等ニ附キマシテモ未ダ十分ニ爲スコトガ出來ヌト云フヨウナ次第居リマス、サウ云フコトデ先刻モ申述ベマシタ通り何分ニモ教育上ノ機關ノ如キハ多少ノ保護ガゴザイマセヌケレバ十分ナ事ヲ爲シ遂ゲマスコトガ出來マスミト思ヒマス、ソレ故帝國教育會ニ補助アラムコトヲ望ミマシタ次第ゴザイマス、是ハ當月ノ二日デゴザイマシタカ昨年、帝國教育會デ全國聯合教育會ト云フモノヲ開キマシタ、是ハ各府縣ノ教育會カラシテ一二名或ハ三名ノ代表、詰リ代議スル者ヲ集メマシテ、サウシテ昨年此東京デ聯合教育會ヲ開キマシタ、其時ニ其會ノ滿場一致ヲ以チマシテ國庫ヨリ補助ニナリタイト云フコトノ請願書ヲ出シマシタ、其請願ノ趣旨ハ本院モ容レラレマシテ既ニ政府ヘ出マシタヤウナ次第デアリマスルシ、又本月三日ニハ衆議院モ帝國教育會ニ國庫補助ノコトニハ同感ト見エマシテ業已ニ政府ヘ建議ニナリマシタ趣デゴザイマス、旁、以テ本院ニ於キマシテモ十分ノ御賛成ヲ得マシテ、直チニ建議ニナルヤウニ切ニ望ミマス所デアリマス、此帝國教育會ノコトニ附キマシテハ申上ゲルコトハ多クゴザイマスルガ、サウ委シイコトヲ申上ゲルニモ及ビマセヌ、唯此教育ノ一機關トシテ何分ニモ十分發達スルヤウニト云フコトヲ望ミマスルノ止マリマスルノデゴザイマスカラシテ、其意ヲ御考ヘ下サリマシテ御賛成アラムコトヲ望ミマスノデアリマス、斯ノ如キ建議案デゴザイマスカラシテ大意、可ト御認メ下サイマシタナラバ直チニ御決シ下サイマシテ速ニ建議ニナラムコトヲ切ニ望ミマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 別段御發議モナクバ採決致シマス、本建議案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数ト認メマス、ソレデ本日ノ議事ハ終リマシタ、明日ノ日程ヲ御報道致シマス

〔河田書記官朗讀〕

午前十時開議

- | | |
|---------------------|--------------|
| 第一 蠶種検査法改正法律案(政府提出) | 第一讀會ノ續(特別委員) |
| 第二 漁業法案(政府提出) | 第一讀會ノ續(特別委員) |
| 第三 精神病者監護法案(政府提出) | 第一讀會ノ續(特別委員) |
| 第四 岡山縣下郡廢舊法律案(政府提出) | 第一讀會ノ續(特別委員) |

- | | |
|--------------------------------------|--------------|
| 第五 府縣都市町村其ノ他ノ公共團體ノ所有地免租ニ關スル法律案(政府提出) | 第一讀會ノ續(特別委員) |
| 第六 重要物同業組合法案(衆議院提出) | 第一讀會 |
| 第七 右議案ノ審査付託スベキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第八 自家用醬油稅法案(衆議院提出) | 第一讀會 |
| 第九 右議案ノ審査付託スベキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第十 北海道水產稅則廢止法律案(衆議院提出) | 第一讀會 |
| 第十一 右議案ノ審査付託スベキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第十二 關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案(衆議院提出) | 第一讀會 |
| 第十三 右議案ノ審査付託スベキ特別委員ノ選舉 | 第一讀會ノ續(特別委員) |
| 第十四 辯護士法中改正法律案(衆議院提出) | 第一讀會ノ續(特別委員) |
| 第十五 質屋取締法中改正法律案(衆議院提出) | 第一讀會ノ續(特別委員) |

○議長(公爵近衛篤磨君) 本日ハ散會

午後一時五十四分散會